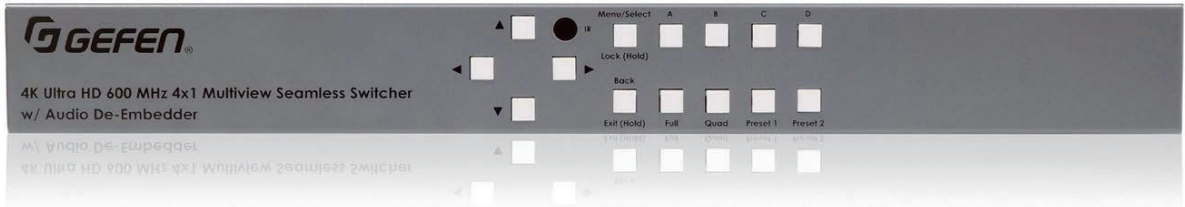




4K Ultra HD 600 MHz

4 × 1 Multiview Seamless Switcher with Audio De-Embedder



EXT-UHD600A-MVSL-41

取扱説明書

Firmware V3.73

2020年3月版

はじめに

■安全上の注意

この度は Gefen 製品をお買いあげいただき、ありがとうございます。機器のセッティングを行う前に、この取扱説明書を十分にお読みください。この説明書には取り扱い上の注意や、購入された製品を最適にお使いいただくための手順が記載されています。長くご愛用いただくため、製品のパッケージと取扱説明書を保存してください。

- ・ 注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。
- ・ 本機を使用中に本体が熱くなりますが、異常ではありません。以下の事項に注意して設置、運用を行ってください。
- ・ 本機の周りに放熱を妨げる物を置かないでください。
- ・ 本機に長時間、物が触れないようにしてください。
- ・ 使用中は長時間、本機を手や皮膚に触れさせないようにしてください。



警告

この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- ・ 必ず付属の電源アダプター、電源ケーブルを使用してください。これ以外の物を使用すると火災の原因となり大変危険です。また、付属の電源アダプター、電源ケーブルを他の製品で使用しないでください。
- ・ AC100V、50Hz/60Hz の電源で使用してください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因となります。
- ・ 分解や改造は行わないでください。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となり危険です。
- ・ 雷が鳴り出したら、金属部分や電源プラグには触れないでください。感電する恐れがあります。
- ・ 煙が出る、異臭がする、水や異物が入った、本体や電源ケーブル・プラグが破損した等の異常があるときは、ただちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。



注意

この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

- ・ 万一、落としたり破損が生じた場合は、そのまま使用せずに修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。
- ・ 以下のような場所には設置しないでください。
直射日光の当たる場所 / 極度の低温または高温の場所 / 湿気の多い場所 / ほこりの多い場所
振動の多い場所 / 風通しの悪い場所
- ・ 配線は電源を切ってから行ってください。電源を入れたまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。
- ・ ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- ・ 廃棄は専門業者に依頼してください。燃やすと化学物質などで健康を損ねたり火災などの原因となります。

■使用上の注意

- 初めて使用するときは、Web インターフェイスを使用して内部設定をする必要があります。ファームウェアの更新は Gefen Syner-G ソフトウェアで行ないます。
- 4K UHD (3840x2160) の出力解像度で使用するモードの場合は、次の制限があります。
 - このモードでは、デフォルトで内蔵されているプリセットのみが使用可能です。したがってユーザープリセットは無効になります。
 - 全ての入力ソースの解像度を 1080p に統一する必要があります。フレームレートは異なってもかまいません。このモードのとき、各入力の EDID データは自動的に「Internal 1080p 2ch」に変更されます。
 - このモードでは、画像調整とボーダーおよびタリー機能が無効になります。
- このマニュアルは、ファームウェア v3.73 に基づいて作成されています。

■特長

- 4x1 のシームレススイッチャー機能と 4 つの入力をスケーリングしてサイズや位置をレイアウトし同時に表示するマルチビュー機能を併せ持っています。
- コントロールは、フロントパネルのボタン、IR リモコン、IP (Web インターフェイス、telnet および UDP) および RS-232 から可能です。
- 入力の最大解像度は、フル HD 1080p60Hz、HDCP1.4 対応です。
- 出力の最大解像度は、4K60Hz (4:4:4) です。
- 4 つの HDMI 入力の内のどの音声を出力するかを選択できます。
- 出力の HDMI からディエンベデッドした L/R アナログ音声出力があります。
- 使いやすいオンスクリーンメニューと Web インターフェイスを備えています。
- HDCP1.4 準拠
- Gefen Syner-G ソフトウェアで最新のファームウェアに更新
- カスタムレイアウトが可能なユーザープリセットがフロントパネルにある 2 つのプリセットボタン (IR リモコンは 6 つ) で瞬時に呼び出せます。
- ロック式の電源コネクタ
- ラックマウントブラケットが付属

■梱包内容

最初に開封した時に、以下の付属品をご確認ください。もし入っていないものがありましたら、販売店にご連絡ください。

- | | |
|-------------------|--------------------------------|
| ・本体 x1 | ・ HDMI ケーブル x4 |
| ・ RS-232 ケーブル x1 | ・ IR 延長受光部 (EXT-RMT-EXTIRN) x1 |
| ・ ラックマウントブラケット x2 | ・ ラックマウントブラケット固定用ネジ x4 |
| ・ IR リモコン x1 | ・ 電源アダプタ x1 |

※記載内容は予告なしに変更することがあります。

目次

01	はじめに	7
	パネルレイアウト	8
	フロントパネル	8
	リアパネル	9
	IRリモコン	10
	IRリモコンの電池取付	12
	接続方法	13
	本体の接続	13
	接続例	13
	Syner-Gソフトウェアを使用したネットワーク設定	14
02	本体を操作する	17
	まえがき	18
	本体の電源をOnにする	18
	ウィンドウの基本	19
	ウィンドウソース	19
	プリセットの実行	20
	マルチウィンドウの表示	22
	ウィンドウのレイヤー優先順位	24
	ウィンドウの優先順位の割り当て	25
	ロック/ロック解除	26
	ロック/ロック解除の操作	26
	IRリモコンの使用	27
	メニューシステム	28
	メニューシステムへのアクセス	28
	フロントパネルで操作する	29
	IRリモコンで操作する	30
	メインメニュー	31
	Setup ▶ Output Resolution (出力解像度)	32
	Setup ▶ Window Setup ▶ Picture (画像調整)	33
	Setup ▶ Window Setup ▶ Layout (ウィンドウレイアウト)	34
	Setup ▶ Window Setup ▶ Labels (ラベル)	35
	Setup ▶ HPD Control (ホットプラグ)	36
	Setup ▶ HDCP Control (高帯域デジタルコンテンツ保護)	37
	Setup ▶ Background (背景画像)	37
	EDID (ディスプレイ固有情報)	38
	Network (IPネットワーク)	39
	System (システム)	41

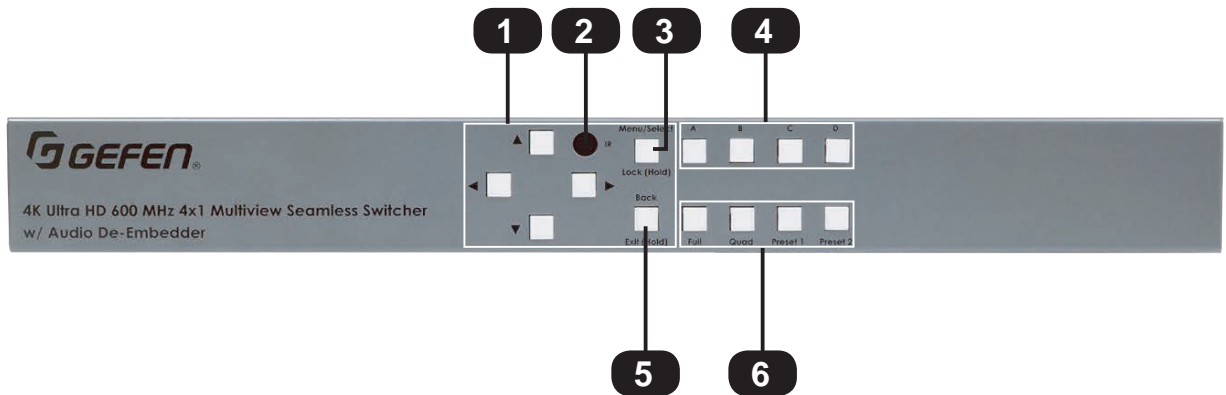
Webインターフェイス	42
Webインターフェイスの操作方法	42
Main ▶ Routing (ルーティング機能)	42
Main ▶ I/O Status (入出力ステータス)	45
Output (出力).....	45
Input (入力).....	45
Setup ▶ Video (ビデオ設定).....	46
Setup ▶ Window Setup (ウィンドウ設定).....	47
Setup ▶ HPD Control (ホットプラグ実行)	48
Setup ▶ HDCP Control (高帯域デジタルコンテンツ保護)	48
Setup ▶ Background (背景画像)	49
Names ▶ Preset Names (プリセット名)	50
EDID ▶ Mode (EDIDモード).....	50
EDID ▶ Copy (EDIDコピー).....	51
EDID ▶ Info (EDID情報)	52
EDID ▶ Upload (アップロード)/Download (ダウンロード)	52
Network ▶ Settings (ネットワーク設定)	53
System ▶ Settings (システム設定)	55
03 高度な操作	57
RS-232 および IP 設定	58
Telnet通信の使い方.....	58
RS-232シリアル通信の使い方	59
コマンド	60
04 付録	81
デフォルト設定	82
ファームウェアの更新	82
仕様	83

4K 600 MHz Ultra HD 4×1 Seamless Switcher

01 はじめに

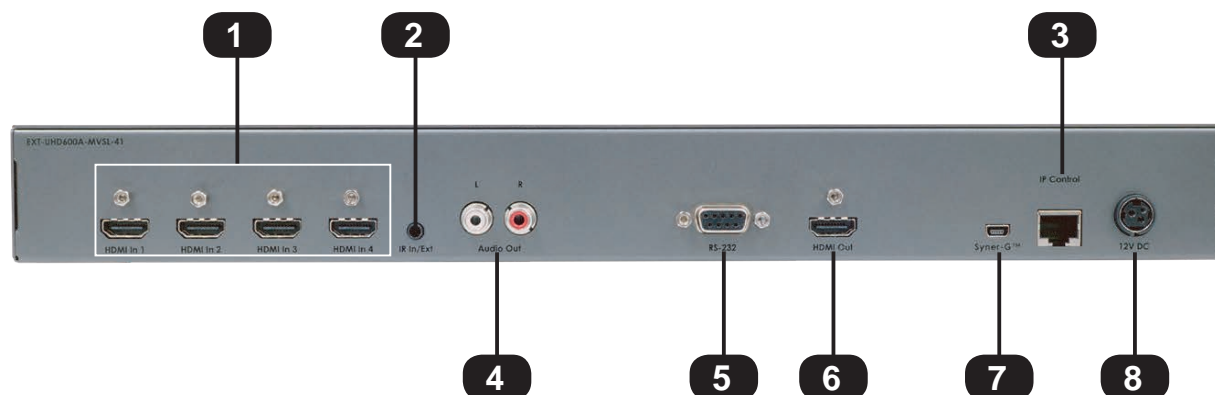
パネルレイアウト

フロントパネル



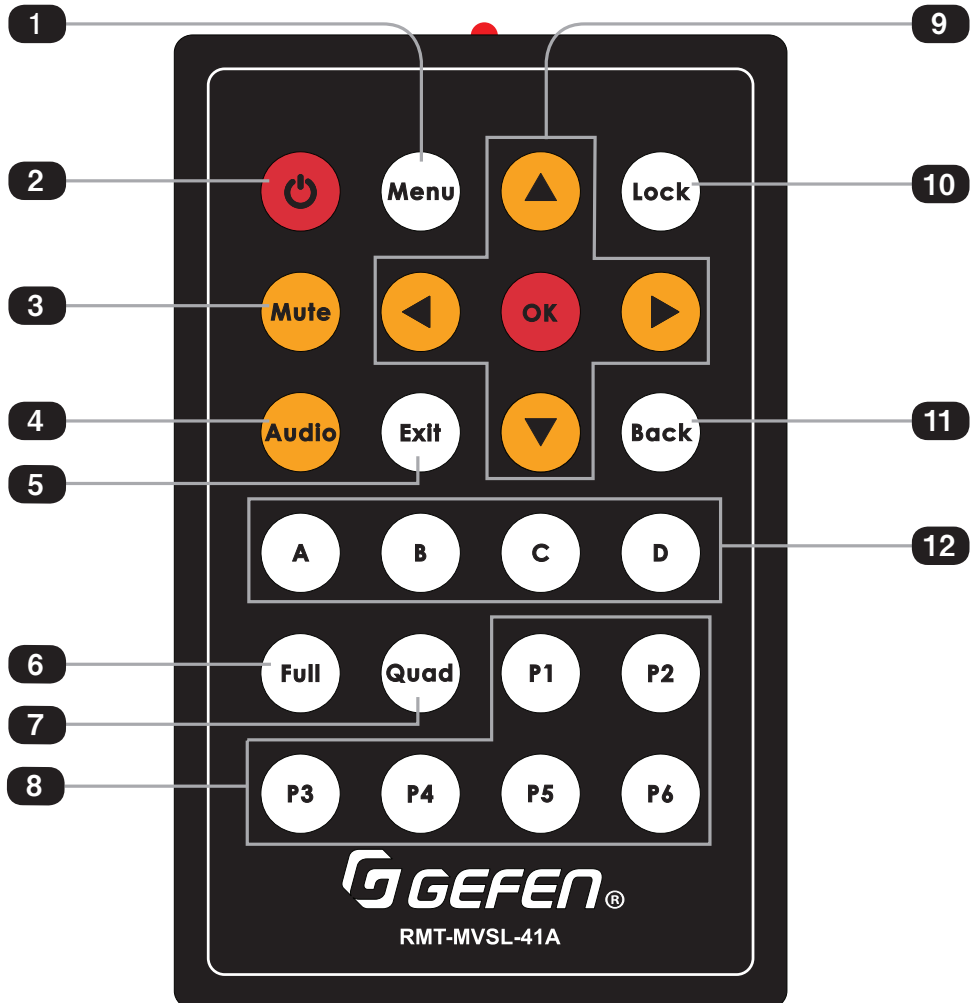
番号	名称	説明
1	OSD メニューシステムボタン	メニューボタンとナビゲーションボタンは、オンスクリーンのユーザーインターフェイス (OSD) を操作するために使用します。メニューボタンを長押しすることで、フロントパネルのボタン操作をロックまたはロック解除することができます。
2	IR 受光部	付属の IR リモコンの赤外線信号を受信します。
3	メニュー / 選択ボタン	このボタンを押すと OSD メニューを表示します。メニュー内の項目を選択するときにも使用されます。このボタンを 3 秒以上長押しするとフロントパネルのボタンがロックされ、誤操作を防ぐことができます。
4	入力およびウィンドウ選択ボタン	フルスクリーンモード (Full) のときは、4 つの入力の切替 (シームレス切替) に使用します。他のモードのときは、ウィンドウ A から D のソース入力選択に使用します。
5	戻るボタン	このボタンを押すと OSD メニュー内で 1 つ前に戻ります。またこのボタンを長押しするとメニューを終了させることができます。
6	プリセットボタン	これらのボタンはプリセットを実行するのに使用されます。フルスクリーン、クワッドスクリーンおよびカスタムプリセット 2 つを実行できます。ユーザー設定可能なカスタムプリセットは、18 個まで作成することができます。
どのボタンでも	電源 On	スタンバイから電源を立ち上げる場合は、フロントパネルの任意のボタンを押すか、IR リモコンの電源ボタンを押してください。

リアパネル



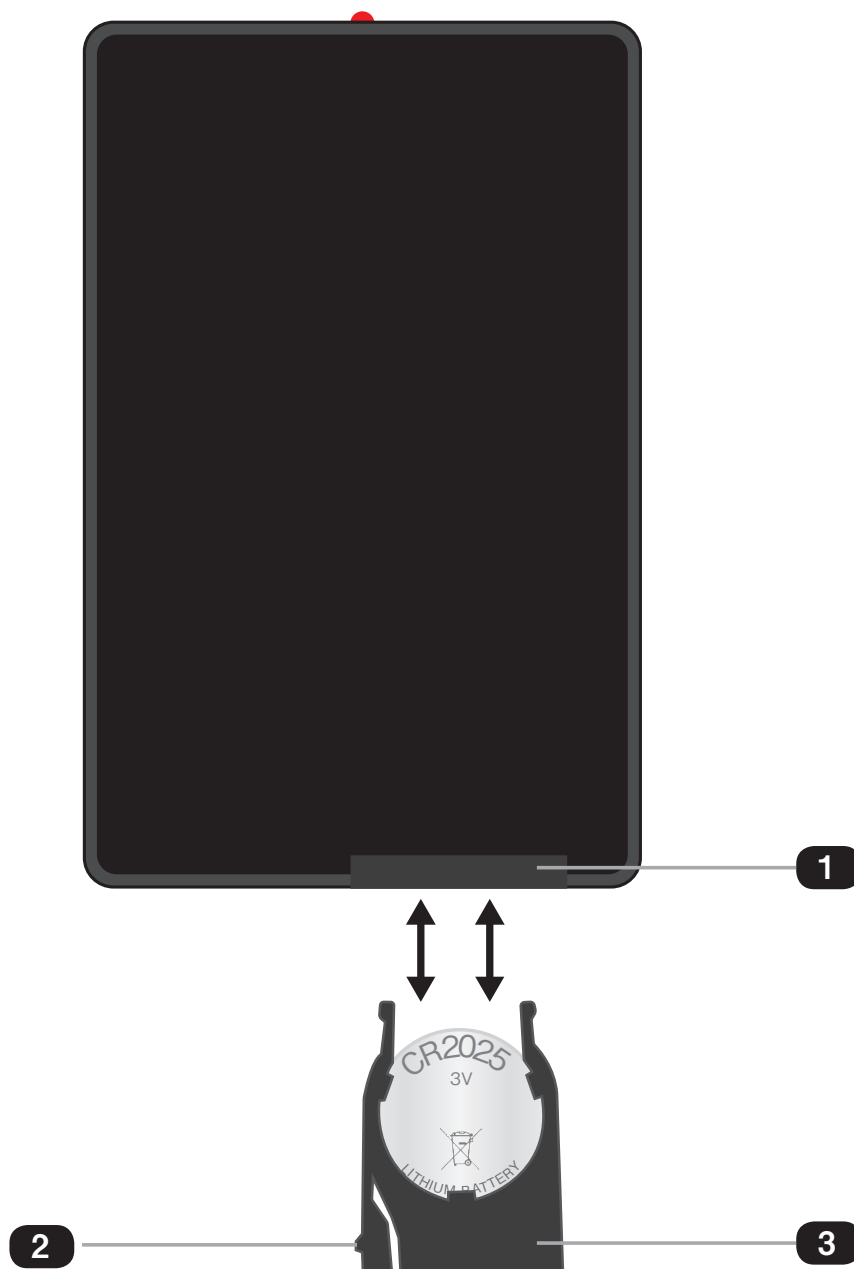
番号	名称	説明
1	HDMI 入力 (1 - 4)	HDMI ケーブルを使用して、最大 4 つのフル HD ソースを接続することができます。
2	IR 延長受光部入力	本体の設置環境によりフロントパネルの IR 受光部が使用できない場合は、付属の IR 延長受光部をこの端子に接続して受光部を見えるところに設置してください。また外部制御装置からの電氣的 IR 信号を入力することもできます。
3	IP コントロール端子	イーサネット経由でコントロールする場合は、この端子に CAT ケーブルで接続してください。IP 設定の詳細は 58 ページの「RS-232 および IP の設定」 を参照してください。
4	アナログ L/R オーディオ出力	外部のオーディオシステムに音声を出したい場合に使用します。RCA ケーブルを使用してアンプなどに接続してください。
5	RS-232 端子	RS-232 経由でコントロールする場合は、付属の RS-232 ケーブルで外部制御装置と接続してください。RS-232 設定の詳細は、 58 ページの「RS-232 および IP の設定」 を参照してください。
6	HDMI 出力	HDMI ケーブルで、2K または 4K ディスプレイに接続します。
7	Syner-G (Mini-USB 端子)	Syner-G ソフトウェアがインストールされた PC と USB ケーブルで接続し、ファームウェアのアップデートができます。
8	12V DC 入力端子	付属の電源アダプタを接続して電源を供給します。

IR リモコン



番号	名称	説明
1	メニューボタン	このボタンを押すと、OSD メニューが表示されます。
2	電源ボタン	本体の電源を On または Off します。
3	ミュートボタン	HDMI 出力およびアナログオーディオ出力の音声をミュート (消音) します。
4	オーディオボタン	どの入力の音声を出力するかを選択します。押すごとに A から順番に切り替わります。
5	終了ボタン	メニューシステムを終了します。
6	フルスクリーンモード	フルスクリーンモードを選択します。A から D のボタンを押して入力をシームレスに切り替えることができます。
7	クワッドスクリーンモード	クワッドスクリーンモードを選択します。
8	プリセットボタン	ユーザー設定可能なカスタムプリセット (P1 ~ P6) を呼出すことができます。
9	ナビゲーションボタン	矢印ボタンを使用して OSD メニュー内を移動したりナビゲーションすることができます。選択する場合は OK ボタンを押します。
10	ロックボタン	本体のボタン操作をロックまたはロック解除します。
11	戻るボタン	OSD メニューシステム内で 1 つ前のメニューに戻ります。パラメータの調整をキャンセルする場合にも使用します。
12	入力選択およびフルスクリーンスイッチング	ウィンドウ A ~ D の入力ソースを選択したり、フルスクリーンモードでは、入力をシームレスに切り替えることができます。

IR リモコンの電池取付



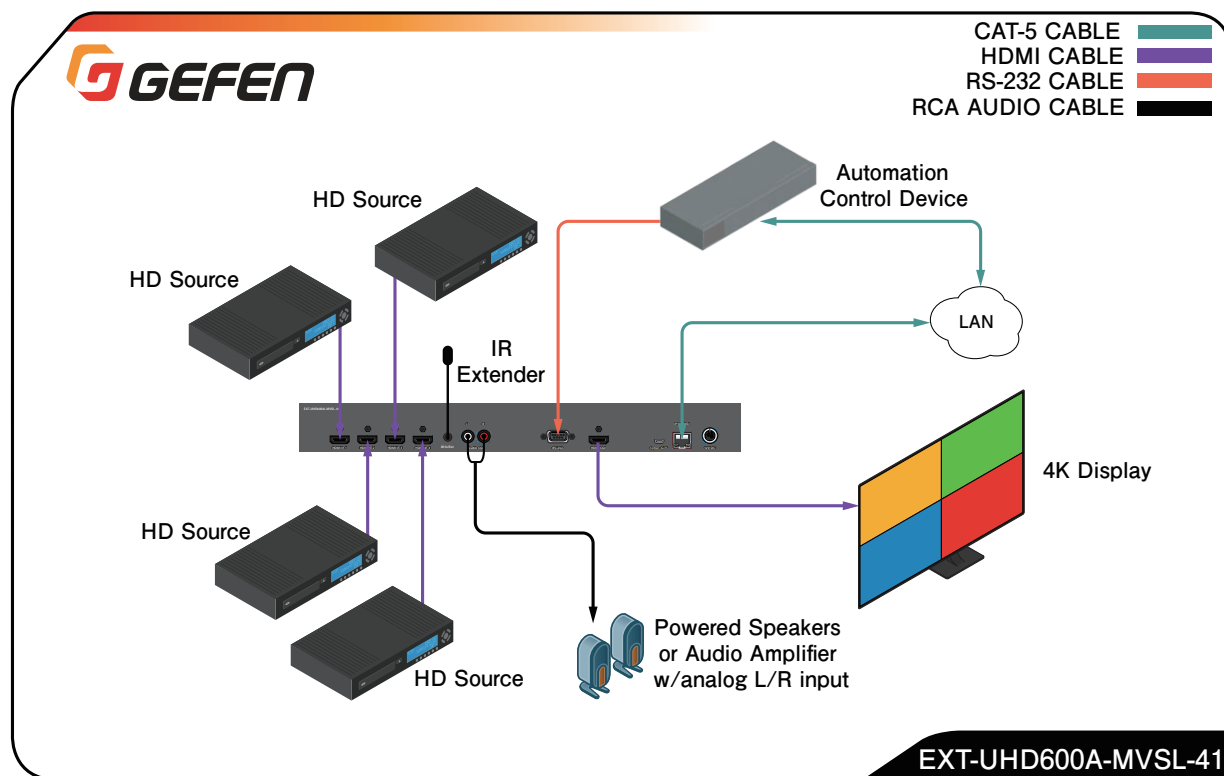
番号	名称	説明
1	電池スロット	電池ケースをこの場所に収納します。
2	固定タブ	このタブを指で内側に押しつけて電池ケースを引き抜きます。電池を交換して電池ケースを元に戻します。
3	電池ケース	IR リモコン駆動用のリチウム電池（CR2025）を収納するために使用します。CR2025（3V リチウム電池）以外は使用しないでください。

接続方法

本体の接続

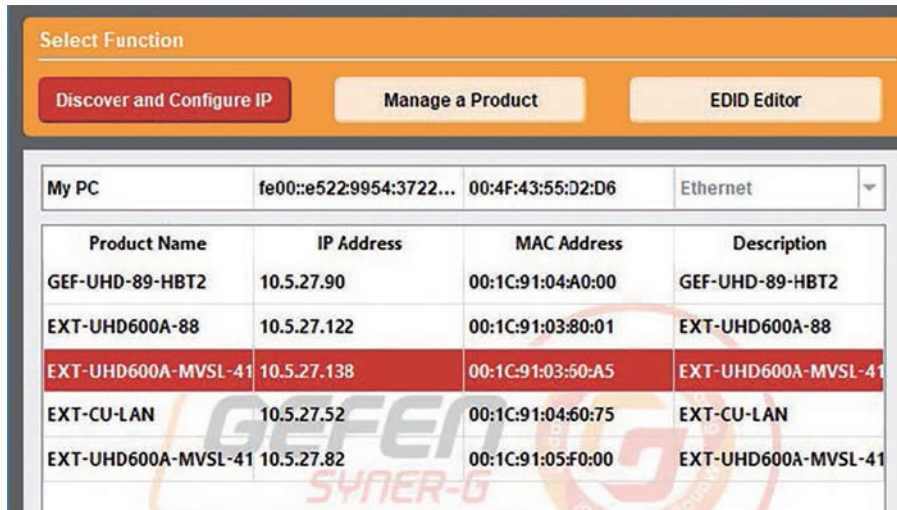
- 1 最大4つのフルハイビジョンソースをHDMI入力に接続します。
- 2 HDまたは4KディスプレイをHDMI出力に接続します。必要に応じて、パワースピーカーやオーディオアンプをアナログL/Rオーディオ出力に接続します。
- 3 必要に応じてRS-232端子に外部制御装置からのRS-232ケーブルを接続します。
- 4 IPコントロールの場合は、外部制御装置とCATケーブルで接続します（イーサネット経由）。
- 5 必要に応じて付属のIR延長受光部をIR In/Extポートに接続します。
- 6 付属の電源アダプタを12V DC端子に接続します。
- 7 電源アダプタをコンセントに差し込みます。

接続例



Syner-G ソフトウェアを使用したネットワーク設定

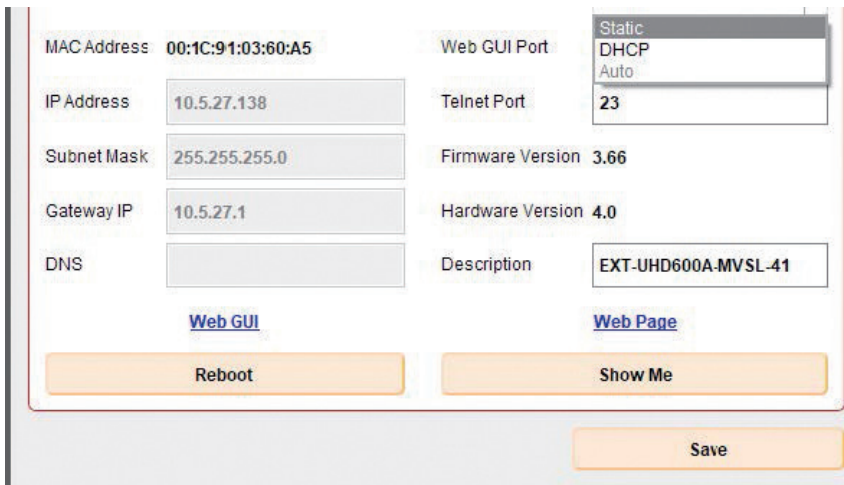
- 1 Syner-G ソフトウェアを起動します。
Syner-G ソフトウェアのダウンロードはこちらから（無償） <http://www.gefen.com/synerg/>
- 2 下図のように接続されている Gefen 製品が検出されます。その中から EXT-UHD600A-MVSL-41 を選択します。



- 3 「Device Settings」セクション（下図）で、IP モードを「Static」または「DHCP」に選択します。
 - ・ Static モード：IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを手動で設定します。必要に応じてネットワーク管理者に相談してください。
 - ・ DHCP モード：DHCP サーバーを使用して自動的にネットワークアドレスを割り当てます。
 - ・ Auto モード：送信機と受信機を 1 ペアで使用する場合に、自動的にネットワークアドレスを割り当てます。（DHCP サーバー不要）



4 設定を変更したら「Save」ボタンをクリックして保存します。



MAC Address	00:1C:91:03:60:A5	Web GUI Port	Static
IP Address	10.5.27.138	Telnet Port	DHCP
Subnet Mask	255.255.255.0	Firmware Version	Auto
Gateway IP	10.5.27.1	Hardware Version	23
DNS		Description	EXT-UHD600A-MVSL-41

[Web GUI](#) [Web Page](#)

Reboot **Show Me**

Save

5 保存後に「Reboot」ボタンをクリックして本体を再起動すると、変更したネットワーク設定で起動します。

6 「Web GUI」をクリックするとウェブブラウザが起動し本体に内蔵されたウェブインターフェイスにアクセスできます。詳細は [42 ページの「ウェブインターフェイス」](#) を参照してください。Telnet 通信を使用する場合は、[58 ページの「RS-232 および IP の設定」](#) を参照してください。

4K 600 MHz Ultra HD

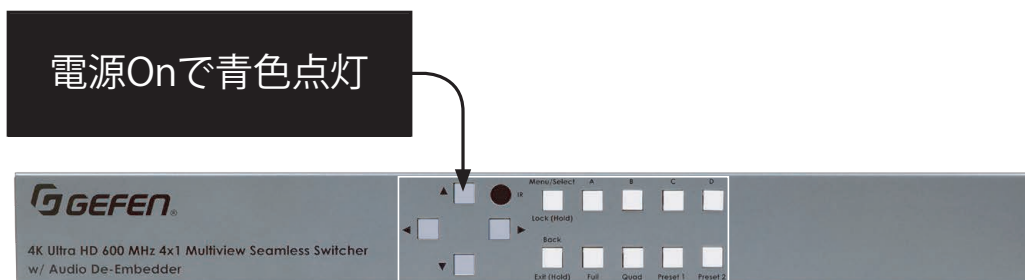
4×1 Seamless Switcher

02 本体を操作する

まえがき

本体の電源を On にする

スタンバイから電源を立ち上げる場合は、フロントパネルの任意のボタンを押すか、IR リモコンの電源ボタンを押してください。電源が立ち上がるとフロントパネルのナビゲーションボタン(◀、▶、▲、▼)が点灯します。外部制御 (IP または RS-232) で電源の On/Off を制御することもできます。

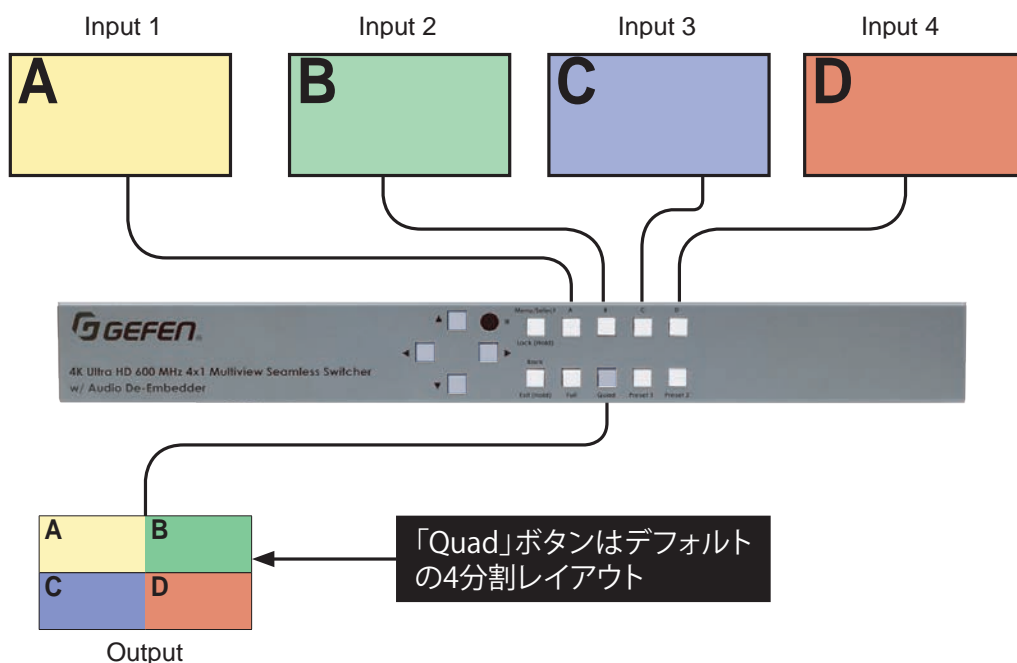


ウィンドウの基本

ウィンドウソース

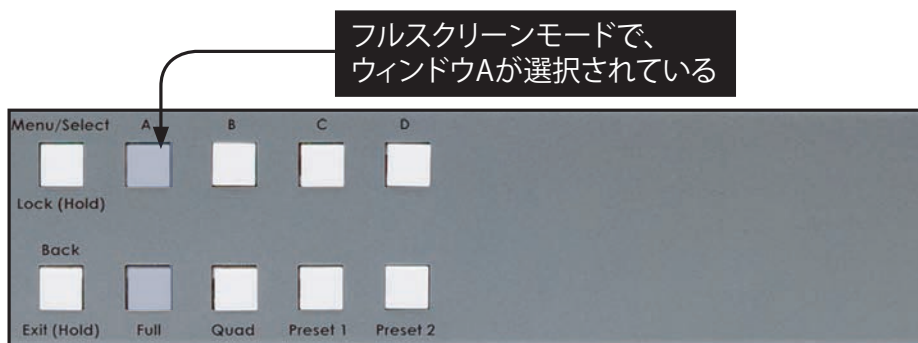
4つのウィンドウ（A～D）があり、各ウィンドウにはA～Dのラベルが表示されています。フロントパネルのAからDのボタンを使ってそれぞれのウィンドウのソース信号を切り替えることができます。

AボタンはウィンドウAのソース切替に使用し、1回押すごとに入力1、入力2、入力3、入力4の順番に信号が切り替わります。



「Full」ボタンを押すとフルスクリーンモードになり、各ウィンドウ（A～D）には自動的に入力が割り当てられます。（Aは入力1、Bは入力2、Cは入力3、Dは入力4）

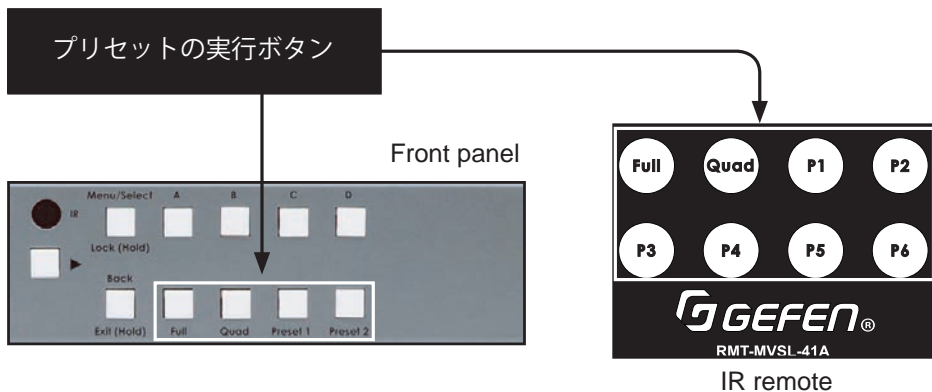
現在選択されているウィンドウのボタンが点灯します。



プリセットの実行

フロントパネルには4つのプリセットボタンがあり、素早く実行させることができます。「Full」ボタンと「Quad」ボタンは内蔵のデフォルトプリセットです。残りの2つ（「Preset1」、「Preset2」）はユーザー設定が可能なカスタムプリセットです。

IRリモコンでは「Full」、「Quad」のデフォルトプリセットと「P1」～「P6」の6つのカスタムプリセットが実行できます。

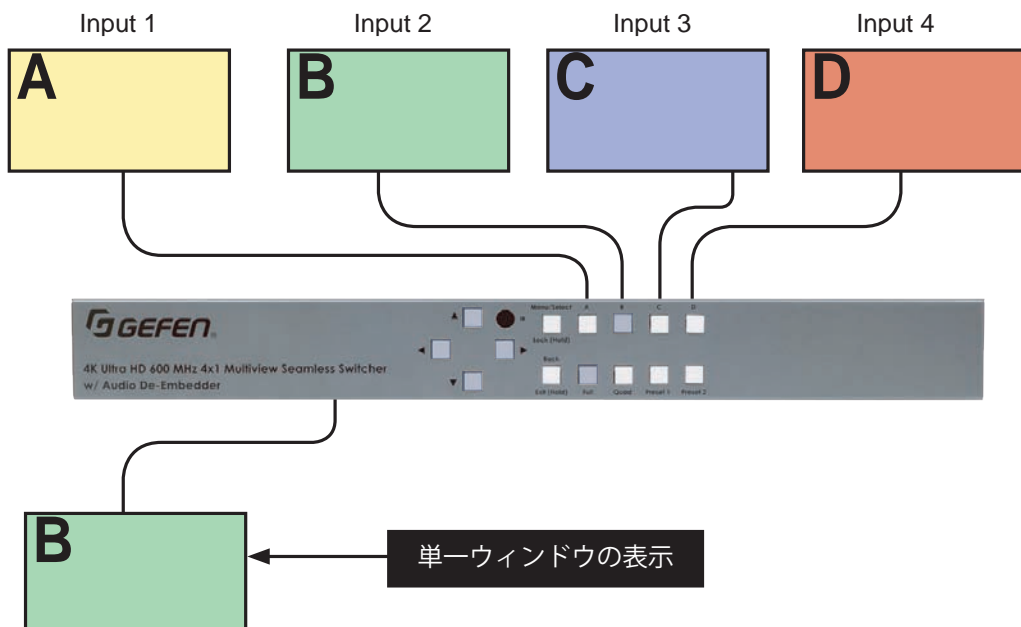


フルスクリーンモードの操作

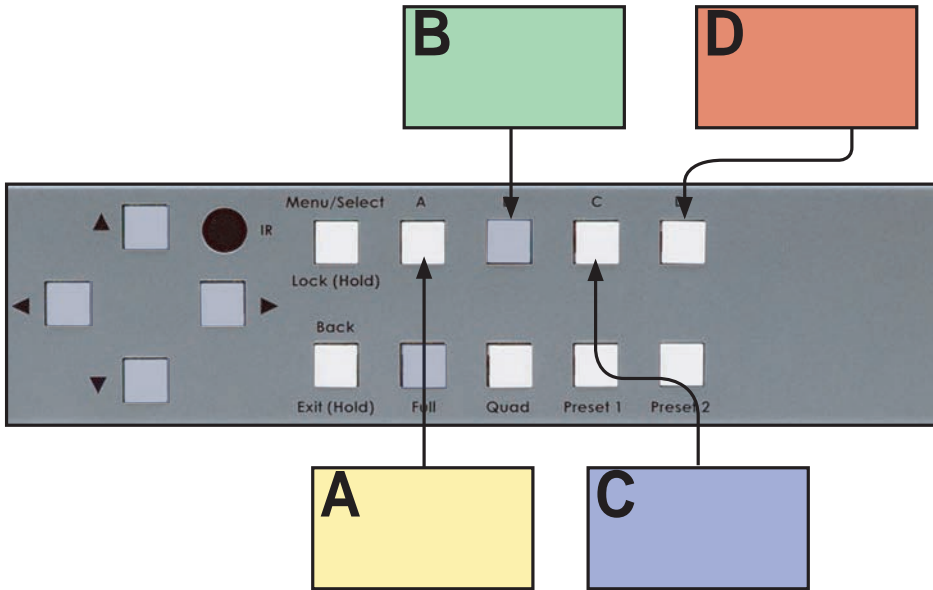
フルスクリーンモードの操作は次の手順です。

- 1 フロントパネルまたはIRリモコンの「Full」ボタンを押します。「Full」ボタンが点灯しフルスクリーンモードがアクティブになります。同時に「A」～「D」のボタンが点滅します。
- 2 ボタンが点滅している間に切り替えたいウィンドウ（入力ソース）のボタンを押すと HDMI 出力の映像は切り替わり、ボタンの点滅が停止すると同時に選択されたボタンが点灯に変わります。

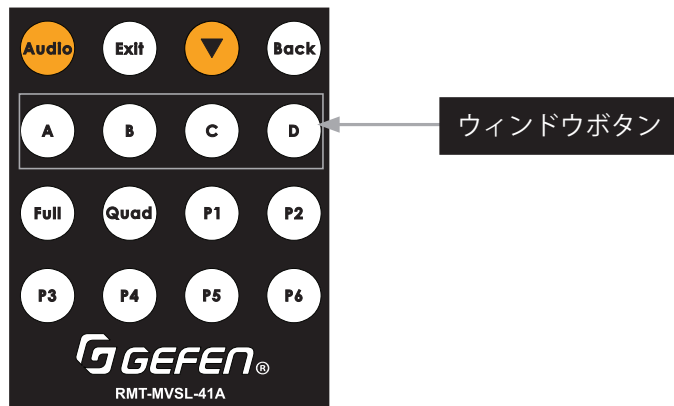
フルスクリーンモードを選ぶと、下図のようにウィンドウ A から D に入力 1 から 4 が自動的に割り当てられます。下図の例では、「B」ボタンが押されて入力 2 のソース映像が HDMI 出力のディスプレイに表示されます。



下図の例では B ボタンが押されたため、B ボタンが点灯しウィンドウ B の入力ソースが出力されます。フルスクリーンモードでは、フロントパネルの A から D のボタンで 4 つのソースをシームレスに切り替えることができます。



IR リモコンのウィンドウボタン (A ~ D) でも同様にシームレススイッチングが操作できます。



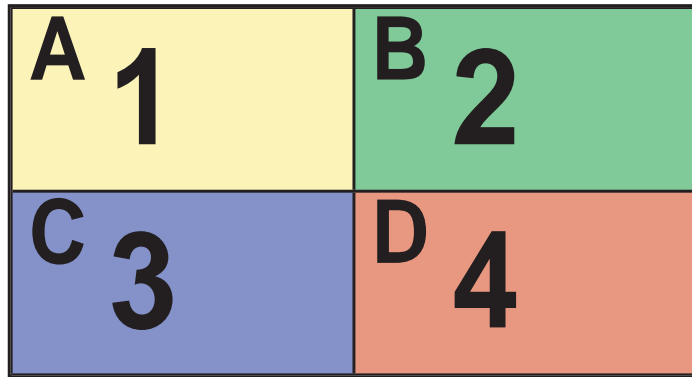
マルチウィンドウの表示

1つのディスプレイに最大4つのウィンドウ(入力ソース)を同時に表示することができます。13ページの「ウィンドウソース」を参照してください。

Quad モードの実行

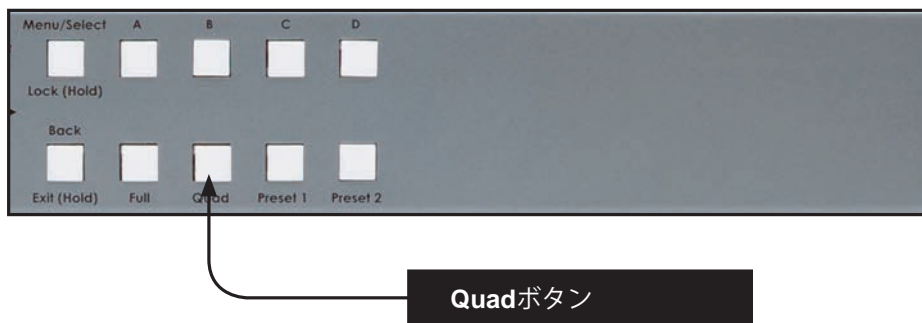
Quad モードでは下図のように画面を4等分したマルチウィンドウを表示します。

デフォルトでは、ウィンドウ A は入力 1、ウィンドウ B は入力 2、ウィンドウ C は入力 3、ウィンドウ D は入力 4 が割り当てられています。

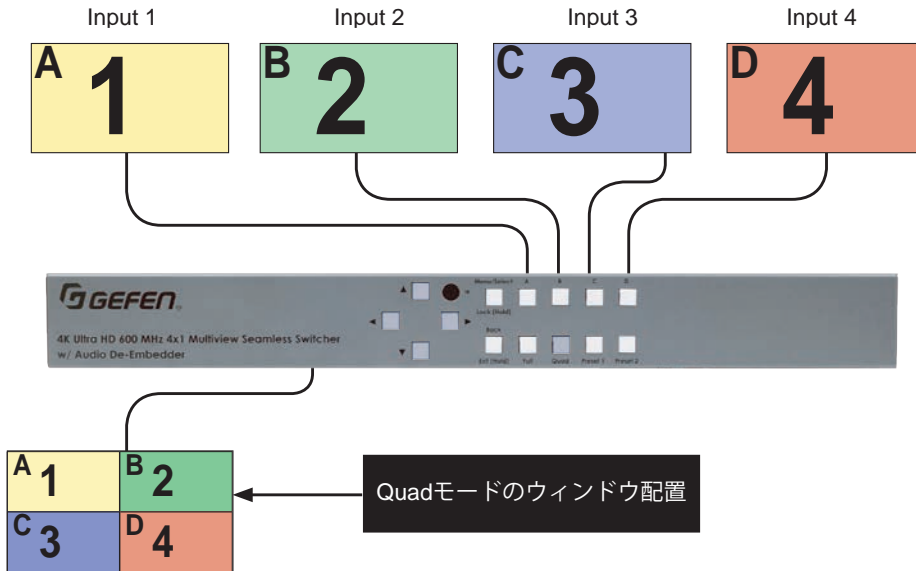


もちろん、各ウィンドウにどの入力でも割り当てることができます。割り当てを変更する手順は次の通りです。

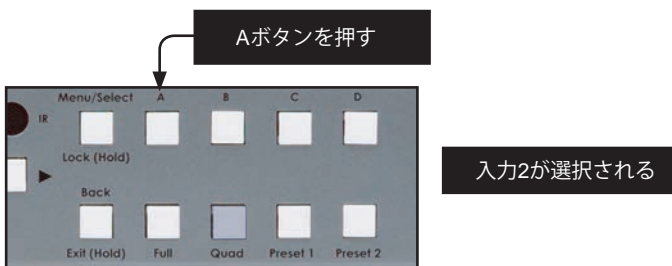
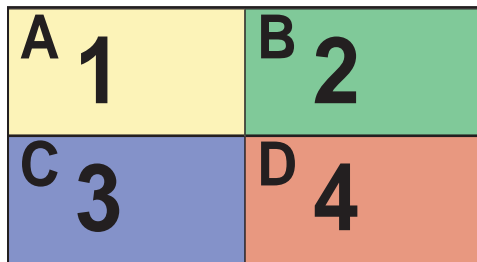
- 1、Quad ボタンを押します。



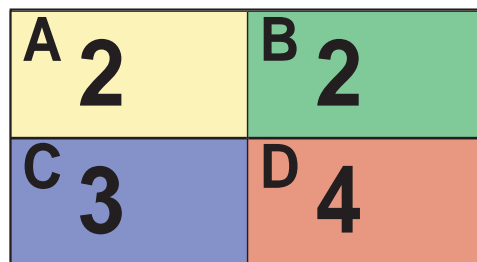
2 下図のように画面を4等分したマルチウィンドウが表示されます。デフォルトではウィンドウAには入力1が割り当てられています。



- 3 例としてウィンドウAを入力2に変更します。
- 4 ウィンドウAボタンを1回押します。

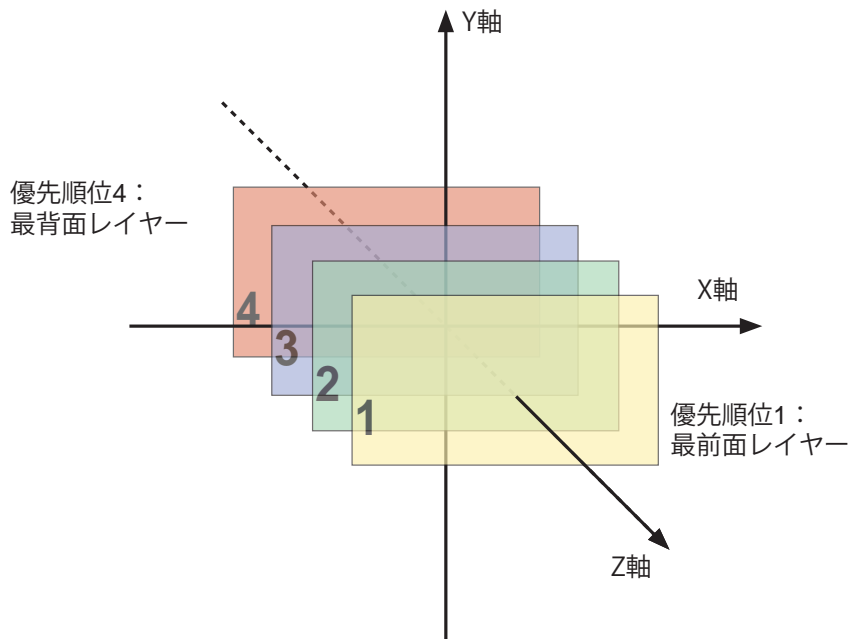


- 5 右図のようにウィンドウAが入力2のソースに切り替わります。



ウィンドウのレイヤー優先順位

内蔵のウェブインターフェイスにログインして、各ウィンドウのサイズや位置を任意に変更することができます。また、それぞれのウィンドウのレイヤー優先順位により重なり部分がどちらのウィンドウを前面に持ってくるかを設定することができます。

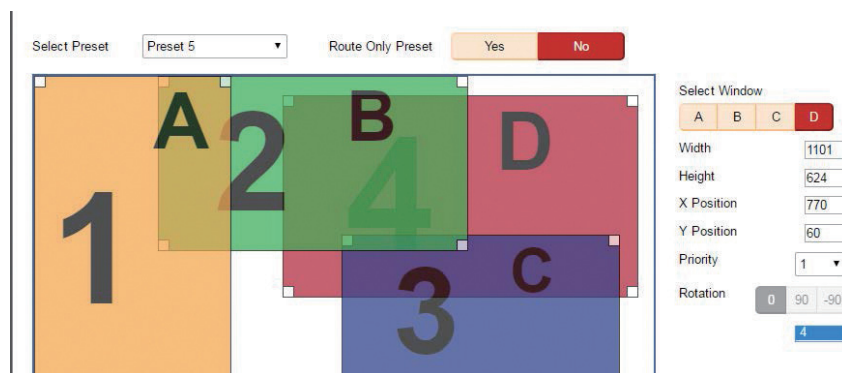


上図では黄色のウィンドウが優先順位 1 に設定され、他のウィンドウよりも上に表示されます。また優先順位 4 の赤色のウィンドウはどのウィンドウよりも下に表示されます。本ユニットにはウィンドウを透明にする機能はありません。

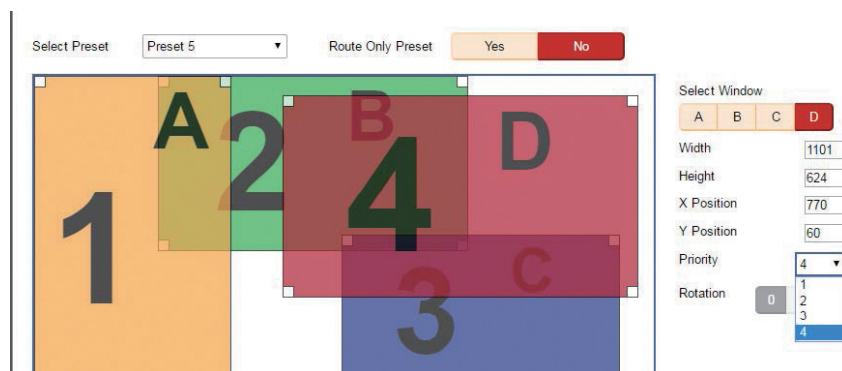
次の章ではウェブインターフェイスを使ってレイヤー優先順位を設定する方法を説明します。

ウィンドウの優先順位の割り当て

- 1 内蔵のウェブインターフェイスにログインします。
詳細は [42 ページの「ウェブインターフェイス」](#) を参照してください。
- 2 「Setup」タブの「Window Setup」サブタブを選択します。
詳細は [47 ページの「ウィンドウ設定」](#) を参照してください。
- 3 例として「Select Preset」のドロップダウンリストで Preset 5 を選択し、必要に応じてウィンドウサイズや位置を変更します。(下図参照)



- 4 4つのウィンドウの内の赤色ウィンドウ D をクリックするか、「Select Window」で「D」を選択します。
- 5 「Priority (優先順位)」のドロップダウンリストに現在の優先順位が表示されます。
- 6 「Priority (優先順位)」ドロップダウンリストから「1」を選択します。



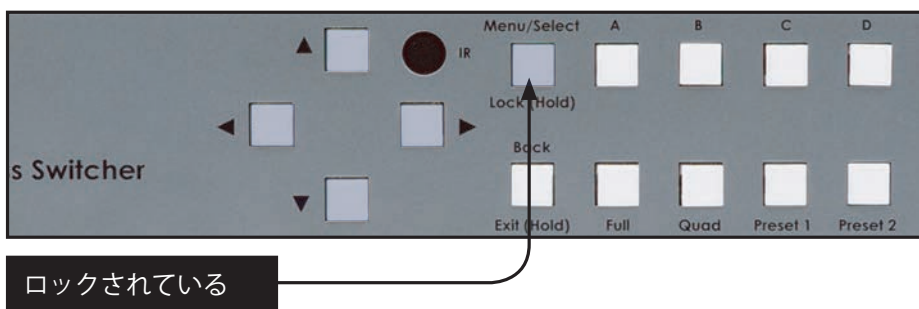
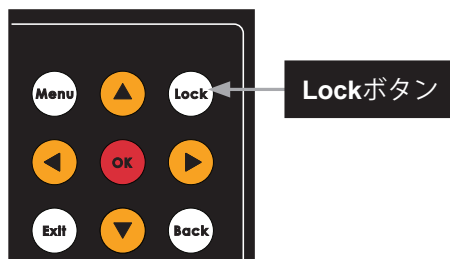
- 7 ウィンドウ D が最前面レイヤーになり、他のウィンドウより上に表示されます。
- 8 「Save to」ドロップダウンリストで Preset 8 を選択し「Save」ボタンをクリックすると、変更したレイアウトが Preset 8 に保存されます。

ロック / ロック解除

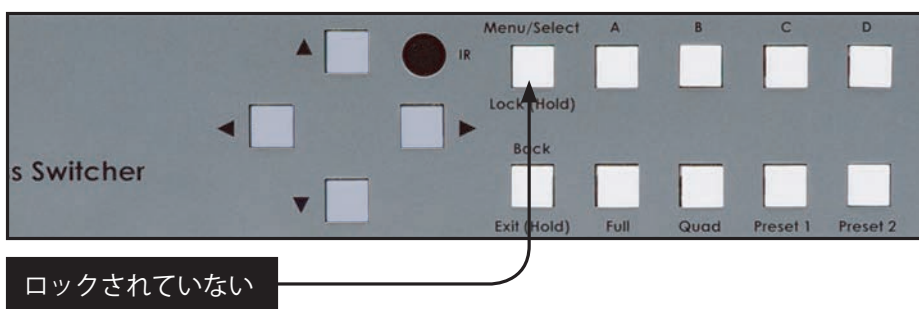
運用時の誤操作を保護するために、フロントパネルのボタン操作をロックさせることができます。(ロックボタンのみ操作可能) このときフロントパネル以外に、IR リモコンとウェブインターフェイスからも操作できなくなります。但し外部制御 (RS-232 または IP コントロール) の API コントロールはロックされません。

ロック / ロック解除の操作

- 1 フロントパネルの「Lock」 ボタンを約 3 秒間長押しします。IR リモコンの場合も「Lock」 ボタンを押しますが、長押しする必要はありません。
- 2 フロントパネルの Lock ボタンが点灯し、操作がロックされます。



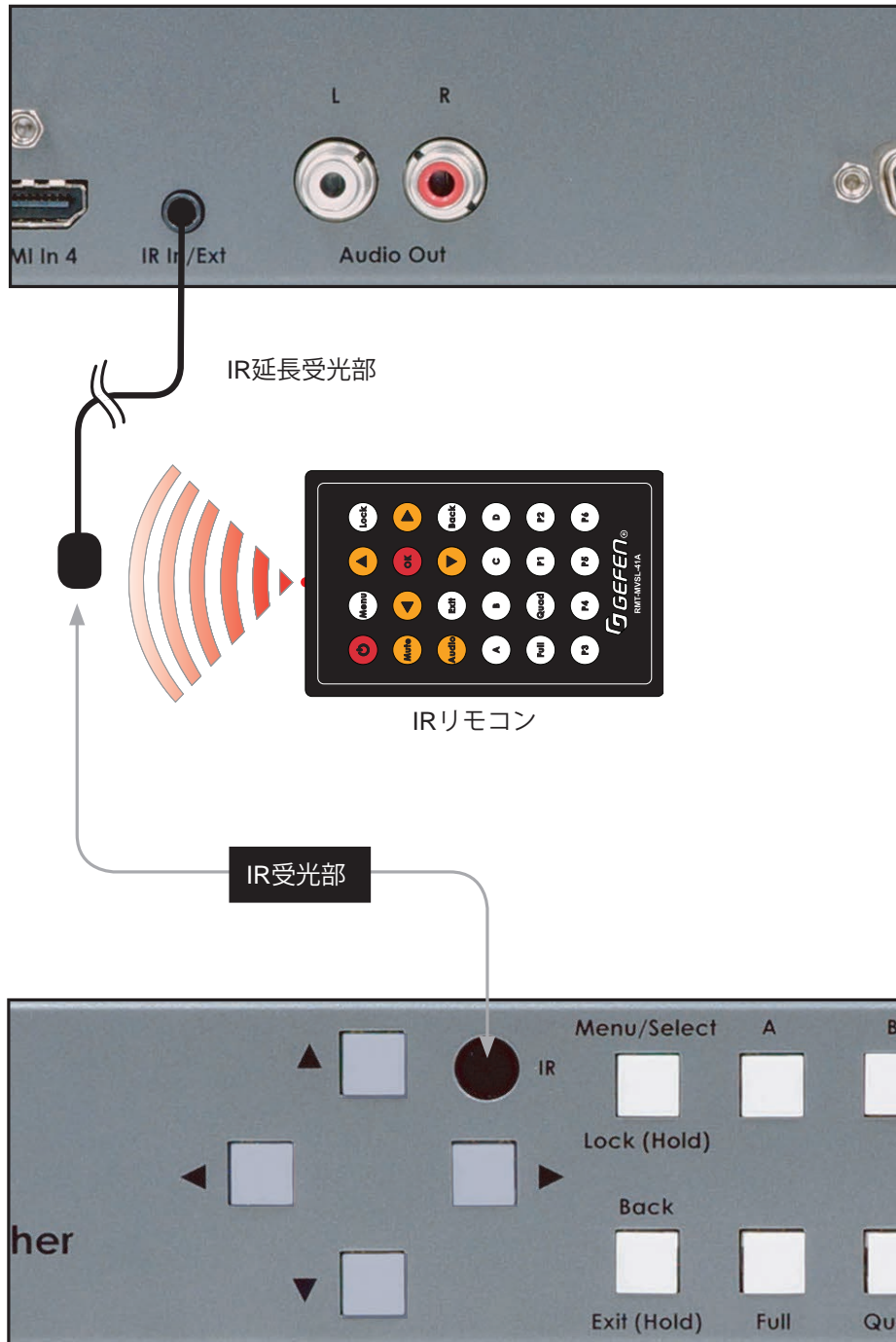
- 3 ロックを解除する場合もフロントパネルの「Lock」 ボタンを長押しします。
- 4 フロントパネルの Lock ボタンが消灯し、ロックが解除されます。



本体がロックされているときにフロントパネルのボタンをどれか押すと、Lock ボタンが 2 回点滅してロックされていることを示します。

IR リモコンの使用

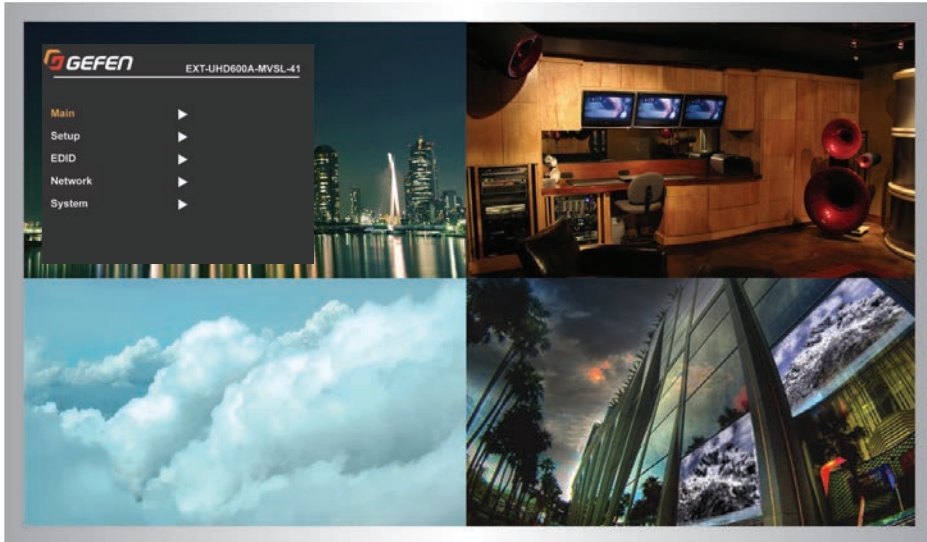
本体をラックなどに収納した場合に、フロントパネルの IR 受光部が隠れてしまう場合があります。この場合は、付属の IR 延長受光部（EXT-RMT-EXTIRN）を本体背面の「IR In/Ext」端子に接続して使用します。IR リモコンを IR 延長受光部に向けて操作してください。



メニューシステム

メニューシステムへのアクセス

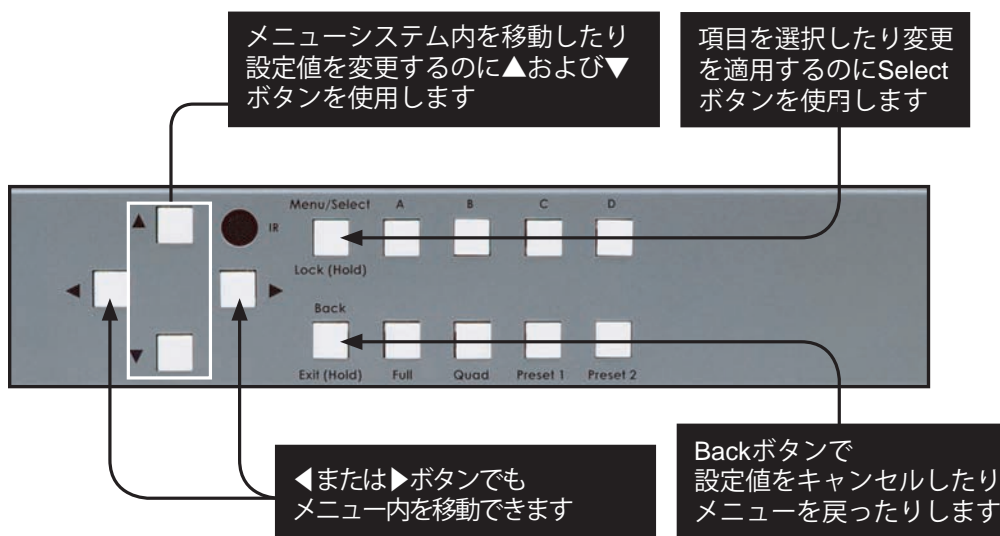
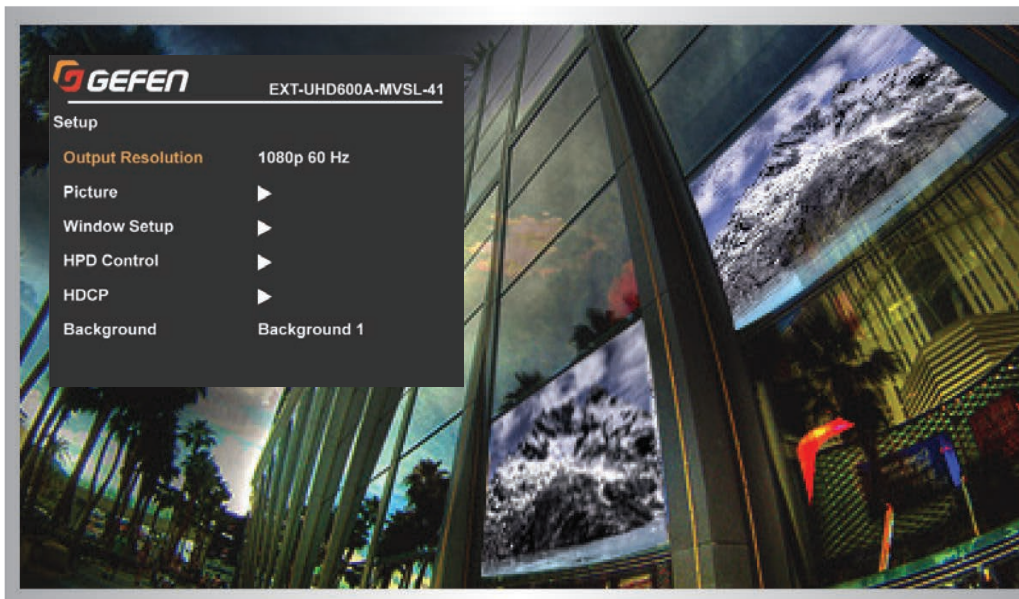
本ユニットは、オンスクリーン（OSD）のメニューシステムを内蔵しています。このメニューシステムを使用して本体の各機能を設定することができます。この OSD メニューにアクセスするには、フロントパネルまたは IR リモコンの「Menu」ボタンを押します。



オンスクリーン表示のタイムアウト時間を変更するには、[41 ページ](#)を参照してください。

フロントパネルで操作する

OSDメニューは◀、▶、▲または▼ボタンを使用してメニュー内を移動します。基本操作は上下の矢印ボタンで設定したい項目に移動し、「Select」ボタンを押します。現在の設定値はオレンジ色にハイライトしています。設定値の変更は上下の矢印ボタンで行ない「Select」ボタンで適用します。左右の矢印ボタンもナビゲーションに使用します。



IR リモコンで操作する

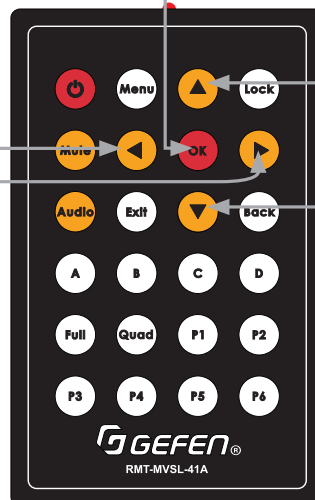
IR リモコンにもフロントパネルと同様にナビゲーションボタンがあります。▲ または ▼ ボタンでメニュー項目を移動し、「OK」ボタンで適用します。◀ または ▶ ボタンもメニュー内の移動に使用します。



OKボタンでメニュー項目を選択するか、
選択した設定を適用します

メニューシステム内を
移動したり設定値を
変更するのに▲および
▼ボタンを使用します

◀ または ▶ ボタンでも
メニュー内を移動でき
ます



メインメニュー

<p>1 フロントパネルまたはIRリモコンの「Menu」ボタンを押すと OSD メニューが表示されます。「Main」を選択してメインメニューを表示します。Presets 項目には現在実行されているプリセット名が表示されます。Presets 項目を Select (OK) ボタンで選択し、▲ または ▼ ボタンでプリセットリストを表示および移動して、任意のプリセットで Select (OK) ボタンを押すとプリセットが実行されます。</p>	 <p>The screenshot shows the main OSD menu for the GEFEN EXT-UHD600A-MVSL-41. The 'Main' title is at the top. Below it, a list of menu items is shown: 'Presets' (highlighted with a red box), 'Full Screen', 'Routing', 'Audio', and 'Power Off'. Each item has a right-pointing arrow next to it.</p>
<p>2 Routing 項目を選択してルーティングメニューを表示します。ここでは各ウィンドウに入カソースを割り当てます。</p>	 <p>The screenshot shows the 'Routing' OSD menu. The title 'Routing' is at the top. Below it, a list of menu items is shown: 'Routing' (highlighted with a red box), 'Audio', and 'Power Off'. Each item has a right-pointing arrow next to it.</p>
<p>3 任意のウィンドウを選択し、▲ または ▼ ボタンで入力リストを表示および移動して、入力ソースを選択します。</p>	 <p>The screenshot shows the 'Routing' OSD menu with 'Window A' selected and highlighted with a red box. Below it, a list of input sources is shown: 'Input 1', 'Input 2', 'Input 3', and 'Input 4'. Each item has a right-pointing arrow next to it.</p>
<p>4 Audio 項目に現在のオーディオルーティングが表示されます。Audio 項目を選択し、▲ または ▼ ボタンで入力リストを表示および移動して、オーディオルーティングを選択します。</p> <p>5 Power Off 項目から本体の電源を切ることができます。Power Off 項目を選択し、▶ ボタンを押して「Yes」をハイライトします。Select (OK) ボタンを押すと電源が Off になります。</p>	 <p>The screenshot shows the 'Audio' OSD menu. The title 'Audio' is at the top. Below it, a list of menu items is shown: 'Audio' (highlighted with a red box), 'Power Off' (highlighted with a red box), 'Routing', 'Full Screen', and 'Presets'. Each item has a right-pointing arrow next to it.</p>


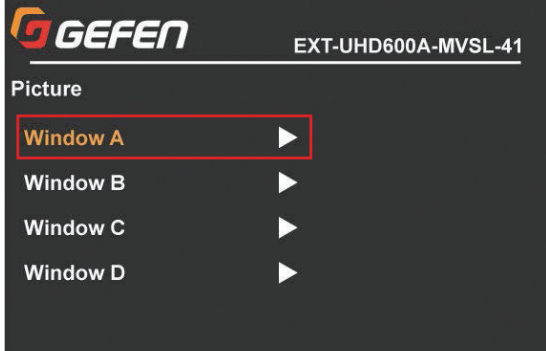
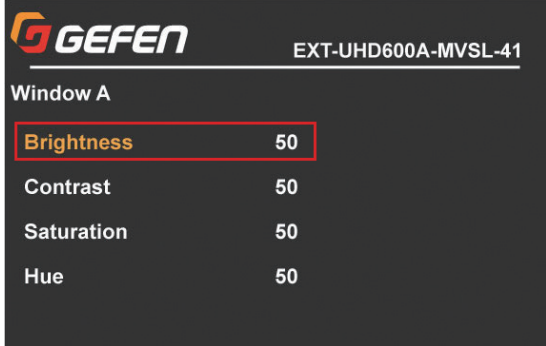
Setup ▶ Output Resolution (出力解像度)



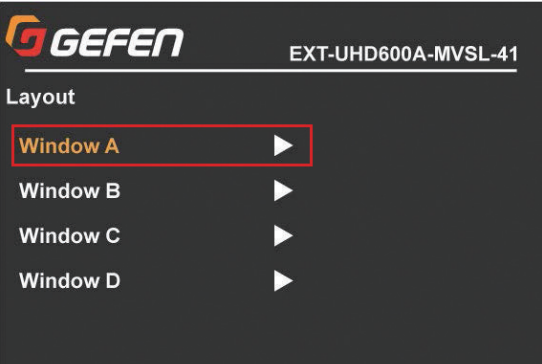
注意：この設定を変更する前に、接続されたディスプレイが選択された出力解像度をサポートできることを確認してください。

<p>1 フロントパネルまたは IR リモコンの Menu ボタンを押して OSD メニューを表示します。▼ ボタンで Setup メニューをハイライトします。</p>	<p>EXT-UHD600A-MVSL-41</p> <ul style="list-style-type: none"> Main ▶ Setup ▶ EDID ▶ Network ▶ System ▶ 																								
<p>2 Select (OK) ボタンを押すとセットアップメニューの項目が表示されます。</p>	<p>EXT-UHD600A-MVSL-41</p> <p>Setup</p> <ul style="list-style-type: none"> Output Resolution 1080p 50 Hz Window Setup ▶ HPD Control ▶ HDCP ▶ Background Background 1 																								
<p>3 Output Resolution 項目には現在の出力解像度が表示されています。Output Resolution 項目をハイライトさせ Select (OK) ボタンを押すと、出力解像度リストが表示されます。▲ または ▼ ボタンで解像度リストを移動し、任意の解像度をハイライトさせます。</p>	<table border="0"> <tr> <td>640 X 480 60 HZ</td> <td>576P 50 HZ</td> </tr> <tr> <td>800 X 600 60HZ</td> <td>720P 50 HZ</td> </tr> <tr> <td>1024 X 768 60 HZ</td> <td>720P 60 HZ</td> </tr> <tr> <td>1280 X 768 60 HZ</td> <td>1080P 50 HZ</td> </tr> <tr> <td>1280 X 960 60 HZ</td> <td>1080P 60 HZ</td> </tr> <tr> <td>1280 X 1024 60 HZ</td> <td>2160P 24 HZ</td> </tr> <tr> <td>1366 X 768 60 HZ</td> <td>2160P 25 HZ</td> </tr> <tr> <td>1440 X 900 60 HZ</td> <td>2160P 30 HZ</td> </tr> <tr> <td>1600 X 1200 60 HZ</td> <td>2160P 60 HZ 4:2:0</td> </tr> <tr> <td>1680 X 1050 60 HZ</td> <td>2160P 60 HZ 4:4:4</td> </tr> <tr> <td>1920 X 1200 60 HZ</td> <td>NATIVE (default)</td> </tr> <tr> <td>480P 60 HZ</td> <td></td> </tr> </table>	640 X 480 60 HZ	576P 50 HZ	800 X 600 60HZ	720P 50 HZ	1024 X 768 60 HZ	720P 60 HZ	1280 X 768 60 HZ	1080P 50 HZ	1280 X 960 60 HZ	1080P 60 HZ	1280 X 1024 60 HZ	2160P 24 HZ	1366 X 768 60 HZ	2160P 25 HZ	1440 X 900 60 HZ	2160P 30 HZ	1600 X 1200 60 HZ	2160P 60 HZ 4:2:0	1680 X 1050 60 HZ	2160P 60 HZ 4:4:4	1920 X 1200 60 HZ	NATIVE (default)	480P 60 HZ	
640 X 480 60 HZ	576P 50 HZ																								
800 X 600 60HZ	720P 50 HZ																								
1024 X 768 60 HZ	720P 60 HZ																								
1280 X 768 60 HZ	1080P 50 HZ																								
1280 X 960 60 HZ	1080P 60 HZ																								
1280 X 1024 60 HZ	2160P 24 HZ																								
1366 X 768 60 HZ	2160P 25 HZ																								
1440 X 900 60 HZ	2160P 30 HZ																								
1600 X 1200 60 HZ	2160P 60 HZ 4:2:0																								
1680 X 1050 60 HZ	2160P 60 HZ 4:4:4																								
1920 X 1200 60 HZ	NATIVE (default)																								
480P 60 HZ																									
<p>4 Select (OK) ボタンを押して選択した解像度を適用させます。もし、ディスプレイが選択した解像度に対応していない場合は、映像を表示なくなります。この場合は、Web インターフェースまたは RS-232 経由で出力解像度を変更してください。コマンドの詳細は 61 ページ を参照してください。</p>	<p>EXT-UHD600A-MVSL-41</p> <p>Setup</p> <ul style="list-style-type: none"> Output Resolution 1080p 50 Hz Window Setup ▶ HPD Control ▶ HDCP ▶ Background Background 1 																								

Setup ▶ Window Setup ▶ Picture (画像調整)

<p>1 フロントパネルまたは IR リモコンの Menu ボタンを押して OSD メニューを表示します。Setup メニューを選択し、次に Window Setup 項目を選択します。</p>	 <p>The OSD menu shows the GEFEN logo and model number EXT-UHD600A-MVSL-41. Under the 'Setup' heading, the following items are listed with right-pointing arrows: Output Resolution (1080p 50 Hz), Window Setup (highlighted with a red box), HPD Control, HDCP, and Background (Background 1).</p>
<p>2 更に Picture 項目を選択します。</p>	 <p>The OSD menu shows the GEFEN logo and model number EXT-UHD600A-MVSL-41. Under the 'Windows Setup' heading, the following items are listed with right-pointing arrows: Picture (highlighted with a red box), Layout, and Labels.</p>
<p>3 任意のウィンドウ (A ~ D) を選択すると、明るさ (Brightness)、コントラスト (Contrast)、彩度 (Saturation)、色相 (Hue) の現在の設定値を表示します。</p>	 <p>The OSD menu shows the GEFEN logo and model number EXT-UHD600A-MVSL-41. Under the 'Picture' heading, the following items are listed with right-pointing arrows: Window A (highlighted with a red box), Window B, Window C, and Window D.</p>
<p>4 ▲ または ▼ ボタンで調整したい項目をハイライトさせ、Select (OK) ボタンで選択します。</p> <p>5 ▲ または ▼ ボタンで数値を変更し、Select (OK) ボタンで適用します。</p>	 <p>The OSD menu shows the GEFEN logo and model number EXT-UHD600A-MVSL-41. Under the 'Window A' heading, the following items are listed with their current values: Brightness (50, highlighted with a red box), Contrast (50), Saturation (50), and Hue (50).</p>

Setup ▶ Window Setup ▶ Layout (ウィンドウレイアウト)

<p>1 フロントパネルまたは IR リモコンの Menu ボタンを押して OSD メニューを表示します。Setup メニューを選択し、次に Window Setup 項目を選択し、更に Layout 項目を選択します。</p>	 <p>The screenshot shows the GEFEN OSD menu for model EXT-UHD600A-MVSL-41. Under the 'Windows Setup' section, the 'Layout' option is highlighted with a red box. Other options include 'Picture' and 'Labels'.</p>
<p>2 ▲ または ▼ ボタンで編集したいウィンドウをハイライトさせ、Select (OK) ボタンを押します。</p>	 <p>The screenshot shows the 'Layout' menu. 'Window A' is highlighted with a red box. Other options listed are 'Window B', 'Window C', and 'Window D'.</p>
<p>3 ▲ または ▼ ボタンで編集したい項目をハイライトさせ、Select (OK) ボタンで選択します。</p> <p>▲ または ▼ ボタンで数値を変更し、Select (OK) ボタンで適用します。</p>	 <p>The screenshot shows the 'Window A' settings menu. The 'Width' parameter is highlighted with a red box and has a value of 1920. Other parameters include Height (1080), X Position (0), Y Position (0), Priority (1), and Rotation (90°).</p>

Setup ▶ Window Setup ▶ Labels (ラベル)

<p>1 フロントパネルまたは IR リモコンの Menu ボタンを押して OSD メニューを表示します。 Setup メニューを選択し、次に Window Setup 項目を選択し、更に Labels 項目を選択します。</p>	 <p>The screenshot shows the OSD menu with the GEFEN logo and model number EXT-UHD600A-MVSL-41. Under 'Windows Setup', the 'Labels' option is highlighted with a red box.</p>
<p>2 ▲ または ▼ ボタンで編集したいウィンドウをハイライトさせ、Select (OK) ボタンを押します。</p>	 <p>The screenshot shows the 'Labels' menu with 'Window A' highlighted by a red box.</p>
<p>3 ▲ または ▼ ボタンで変更したい項目をハイライトさせ、Select (OK) ボタンで選択します。</p> <p>▲ または ▼ ボタンで有効 (Yes) または無効 (No)を設定し、Select (OK)ボタンで適用します。</p>	 <p>The screenshot shows the 'Window A' settings menu. The 'Source Label', 'Window Label', and 'Border Tally' options are highlighted with a red box. The values are: Source Label: Yes, Border: No, Window Label: Yes, Border Tally: No.</p>

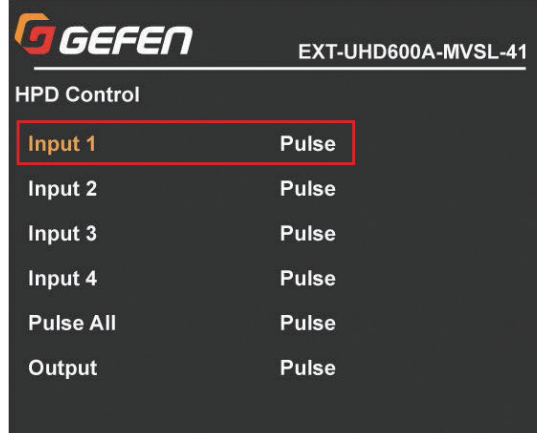
Setup ▶ HPD Control (ホットプラグ)

- 1 フロントパネルまたは IR リモコンの **Menu** ボタンを押して OSD メニューを表示します。Setup メニューを選択し、次に HPD Control 項目を選択します。



- 2 ▲ または ▼ ボタンで HPD パルスを送信する宛先をハイライトさせ、**Select (OK)** ボタンを押します。

再度 **Select (OK)** ボタンを押すと、HPD パルスが送信されます。



Setup ▶ HDCP Control (高帯域デジタルコンテンツ保護)

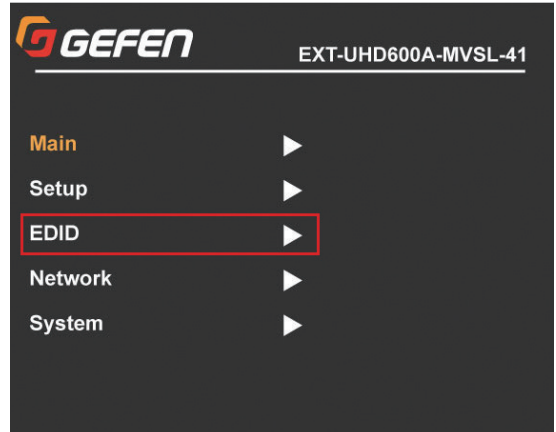
<p>1 フロントパネルまたは IR リモコンの Menu ボタンを押して OSD メニューを表示します。 Setup メニューを選択し、次に HDCP Control 項目を選択します。</p>	 <p>The screenshot shows the GEFEN OSD menu for model EXT-UHD600A-MVSL-41. The 'Setup' menu is open, and 'HDCP' is highlighted with a red box. Other options include Output Resolution (1080p 50 Hz), Picture, Window Setup, HPD Control, and Background (Background 1).</p>
<p>3 ▲ または ▼ ボタンで変更したい項目をハイライトさせ、Select (OK) ボタンで選択します。</p> <p>▲ または ▼ ボタンで設定を変更し、Select (OK) ボタンで適用します。</p>	 <p>The screenshot shows the GEFEN OSD menu for model EXT-UHD600A-MVSL-41. The 'HDCP' menu is open, and 'Input 1' is highlighted with a red box. Other options include Input 2, Input 3, Input 4, and Output (Follow Input).</p>

Setup ▶ Background (背景画像)

<p>1 フロントパネルまたは IR リモコンの Menu ボタンを押して OSD メニューを表示します。 Setup メニューを選択し、次に Background 項目を選択します。</p> <p>必要に応じて ▲ または ▼ ボタンで背景画像を選択し、Select (OK) ボタンで適用します。</p>	 <p>The screenshot shows the GEFEN OSD menu for model EXT-UHD600A-MVSL-41. The 'Setup' menu is open, and 'Background' is highlighted with a red box. Other options include Output Resolution (1080p 50 Hz), Picture, Window Setup, HPD Control, and HDCP.</p>
---	---

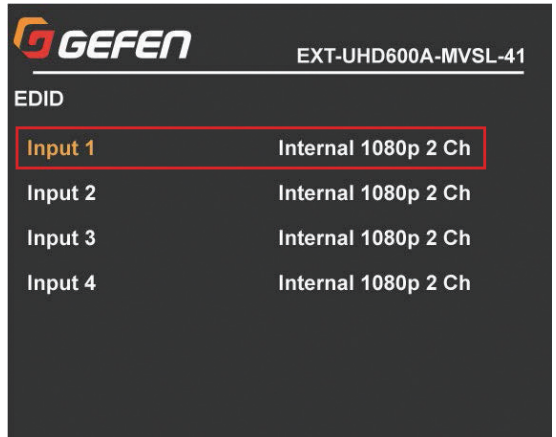
EDID (ディスプレイ固有情報)

- 1 フロントパネルまたは IR リモコンの **Menu** ボタンを押して OSD メニューを表示します。EDID メニューを選択します。

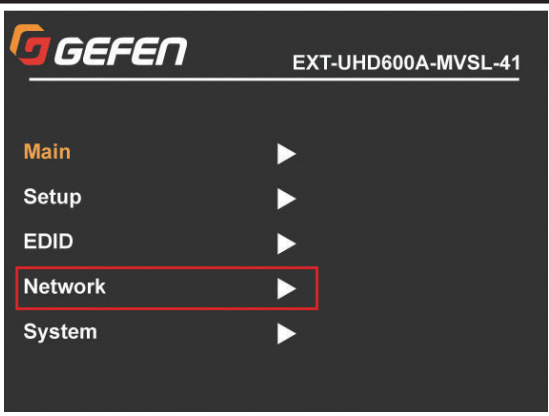
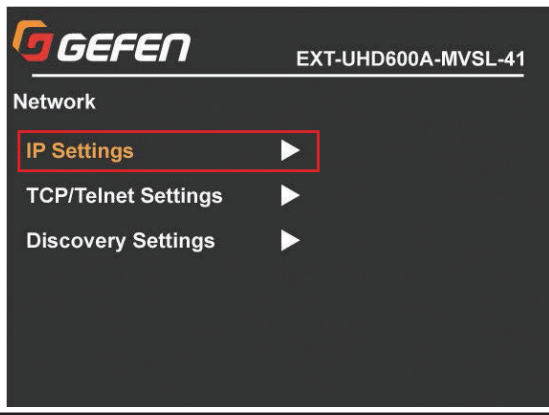
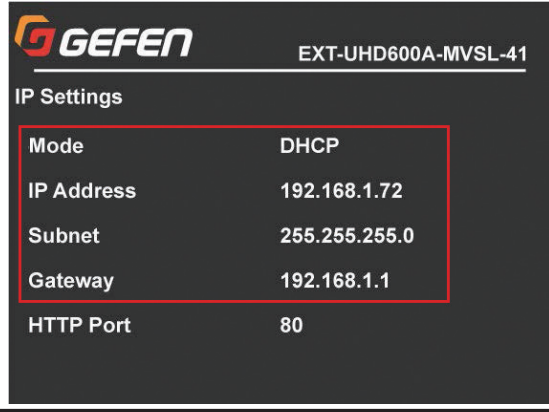
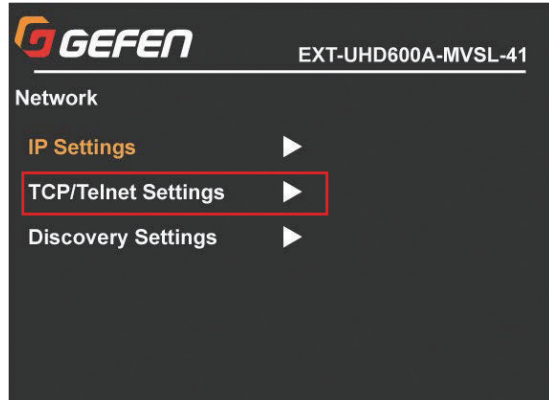


- 2 ▲ または ▼ ボタンで編集したい入力をハイライトさせ、**Select (OK)** ボタンを押します。

次に ▲ または ▼ ボタンで EDID データを選択し、**Select (OK)** ボタンで適用します。


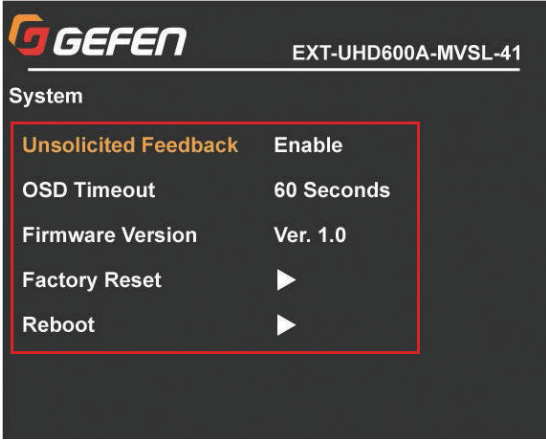
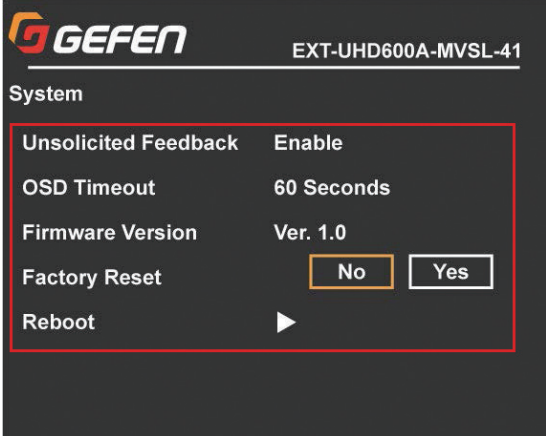


Network (IP ネットワーク)

<p>1 フロントパネルまたは IR リモコンの Menu ボタンを押して OSD メニューを表示します。Network メニューを選択します。</p>	 <p>The screenshot shows the GEFEN OSD menu for model EXT-UHD600A-MVSL-41. The menu items are Main, Setup, EDID, Network, and System. The 'Network' item is highlighted with a red box and a right-pointing arrow.</p>
<p>2 ▲ または ▼ ボタンで IP Settings 項目をハイライトさせ、Select (OK) ボタンを押します。</p>	 <p>The screenshot shows the Network menu. The items are IP Settings, TCP/Telnet Settings, and Discovery Settings. The 'IP Settings' item is highlighted with a red box and a right-pointing arrow.</p>
<p>3 ▲ または ▼ ボタンで編集したい項目をハイライトさせ、Select (OK) ボタンを押します。</p> <p>次に ▲ または ▼ ボタンで設定値を編集し、Select (OK) ボタンで適用します。</p> <p>4 IP アドレスのセグメント間の移動は◀または▶ボタンを使用します。そして ▲ または ▼ ボタンで数値を編集し、Select (OK) ボタンで適用します。</p>	 <p>The screenshot shows the IP Settings menu. The items are Mode, IP Address, Subnet, Gateway, and HTTP Port. The values are Mode: DHCP, IP Address: 192.168.1.72, Subnet: 255.255.255.0, Gateway: 192.168.1.1, and HTTP Port: 80. The entire settings area is highlighted with a red box.</p>
<p>5 Back ボタンを押して、Network メニューに戻ります。</p> <p>▲ または ▼ ボタンで TCP/Telnet Settings 項目をハイライトさせ、Select (OK) ボタンを押します。</p>	 <p>The screenshot shows the Network menu. The items are IP Settings, TCP/Telnet Settings, and Discovery Settings. The 'TCP/Telnet Settings' item is highlighted with a red box and a right-pointing arrow.</p>

<p>6 ▲ または ▼ ボタンで編集したい項目をハイライトさせ、Select (OK) ボタンを押します。次に ▲ または ▼ ボタンで設定値を編集し、Select (OK) ボタンで適用します。</p>	
<p>7 Back ボタンを押して、Network メニューに戻ります。▲ または ▼ ボタンで Discovery Settings 項目をハイライトさせ、Select (OK) ボタンを押します。</p>	
<p>8 ▲ または ▼ ボタンで編集したい項目をハイライトさせ、Select (OK) ボタンを押します。</p> <p>9 ▲ または ▼ ボタンで設定値を変更し、Select (OK) ボタンで適用します。</p>	

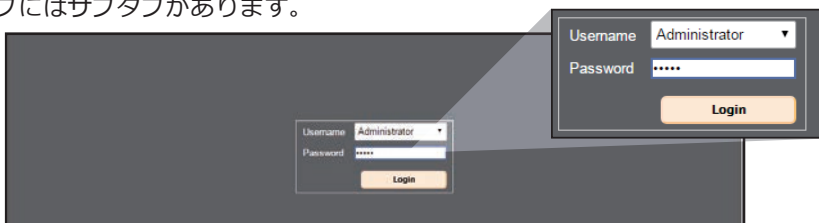
System (システム)

<p>1 フロントパネルまたは IR リモコンの Menu ボタンを押して OSD メニューを表示します。System メニューを選択します。</p>	 <p>The OSD menu for model EXT-UHD600A-MVSL-41 is displayed. The 'System' option is highlighted with a red box. Other options include Main, Setup, EDID, and Network.</p>
<p>2 ▲ または ▼ ボタンで編集したい項目をハイライトさせ、Select (OK) ボタンを押します。</p>	 <p>The 'System' menu is shown. The 'Unsolicited Feedback' option is highlighted with a red box. Other options include OSD Timeout (60 Seconds), Firmware Version (Ver. 1.0), Factory Reset, and Reboot.</p>
<p>3 有効 (Enable) または無効 (Disable) の選択は ▲ または ▼ ボタンで、Yes/No の選択は ◀ または ▶ ボタンで行ない、Select (OK) ボタンを押して適用します。</p>	 <p>The 'System' menu is shown. The 'Factory Reset' option is highlighted with a red box, and 'No' and 'Yes' buttons are visible next to it. Other options include Unsolicited Feedback (Enable), OSD Timeout (60 Seconds), Firmware Version (Ver. 1.0), and Reboot.</p>

Web インターフェイス

Web インターフェイスの操作方法

下図は Web インターフェイスのログイン画面です。ユーザー名 (Username) は、Administrator または Operator を選択できます。デフォルトのパスワード (Password) は、それぞれ「admin」または「operator」です。Web インターフェイスは 6 つのタブ (Main、Setup、Names、EDID、Network、System) で構成され、一部のタブにはサブタブがあります。



Username (ユーザー名)

ドロップダウンリストでユーザー名を選択します。

- ・ Administrator (管理者)
- ・ Operator (オペレータ)

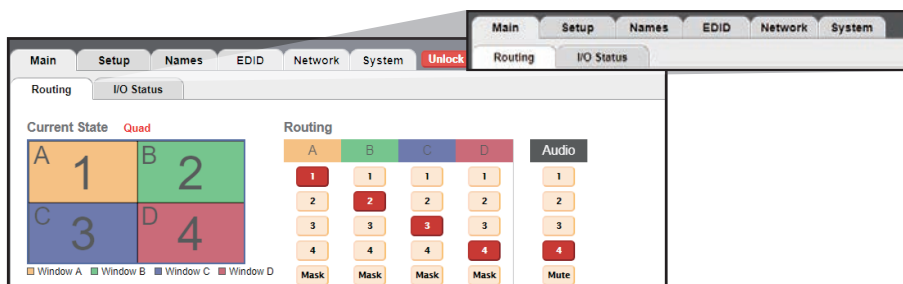
Administrator (管理者) でログインすると、全ての機能の設定にアクセスできます。Operator (オペレータ) でログインすると、ルーティング機能、プリセットの実行および入出力ステータスの表示にアクセスが限定されます。

Password (パスワード)

選択したユーザー名に関連付けられたパスワードを入力してください。

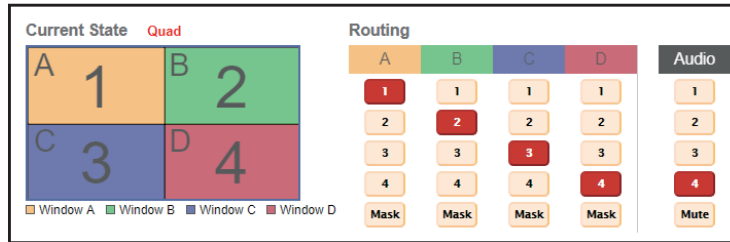
Main ▶ Routing (ルーティング機能)

Main タブには、日々の運用にかかわる項目が含まれています。Routing サブタブを選択するとルーティングページが表示されます。



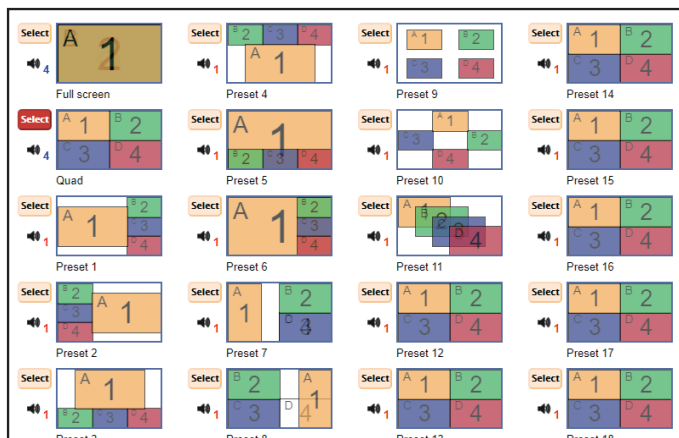
4K モードの制限事項

- ・ カスタムプリセットは使用できません。
- ・ 4つの入力ソースは 1080pのみ可能です。(EDIDは自動的に 1080p 2chになります)
- ・ 画像調整機能は使用できません。
- ・ ボーダータリー機能は使用できません。



ルーティングページの上部には、現在のウィンドウレイアウトとプリセット名およびルーティング状態が表示されます。(上図参照)

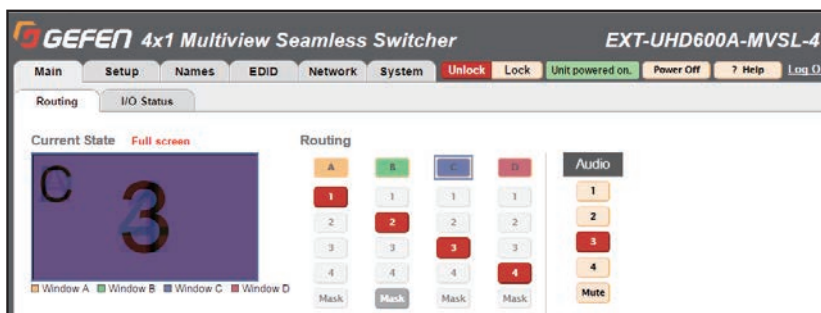
ルーティングは各ウィンドウ毎に入力 1～4 を自由に選択できる他、マスク（非表示）することもできます。またオーディオは任意の入力から選択できる他、ミュート **Mute**（消音）することもできます。



ルーティングページの下部には、2個のデフォルトプリセット（Full Screen、Quad）と18個のユーザー設定可能なカスタムプリセットが表示されます。(上図参照) カスタムプリセットの Preset1～11 までは基本レイアウトが設定されていますが、編集して上書きすることができます。

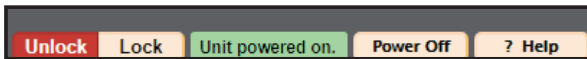
各プリセットの左側にある「Select」ボタン **Select** を押し、そのプリセットが実行されます。

各プリセット画像は視覚的にレイアウトを認識でき、オーディオの選択もアイコン 2 で表示されます。🔇 アイコンはオーディオがミュートされることを示します。各ウィンドウは色で識別され、ウィンドウの中央の数字は入力ソースを示します。白色のウィンドウはマスク（非表示）が選択されています。



Full Screen プリセットを選択すると、ウィンドウ A が最前面に表示され入力 1～4 が自動的にウィンドウ A～D に番号順に割り当てられます。(上図参照)

Routing の A～D ボタンを押すことで、そのウィンドウが前面に移動しシームレススイッチングが実行されます。

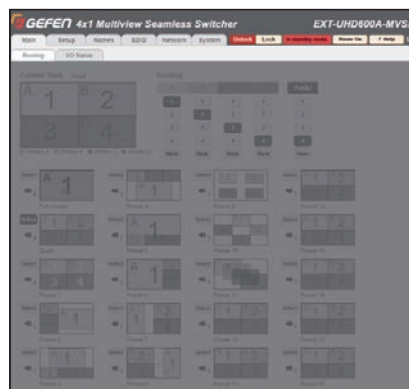


Unlock / Lock ボタン

本体の操作をロックまたはロック解除することができます。ロックした場合、フロントパネルや IR リモコンおよび Web インターフェイスからの操作ができなくなります。但し、RS-232 や IP 経由の外部コマンドは実行されます。

Power Off ボタン

本体の電源を入 / 切することができます。Power Off ボタンを押すと本体の電源が切れ、ボタンの表示が Power On に変わります。



? Help ボタン

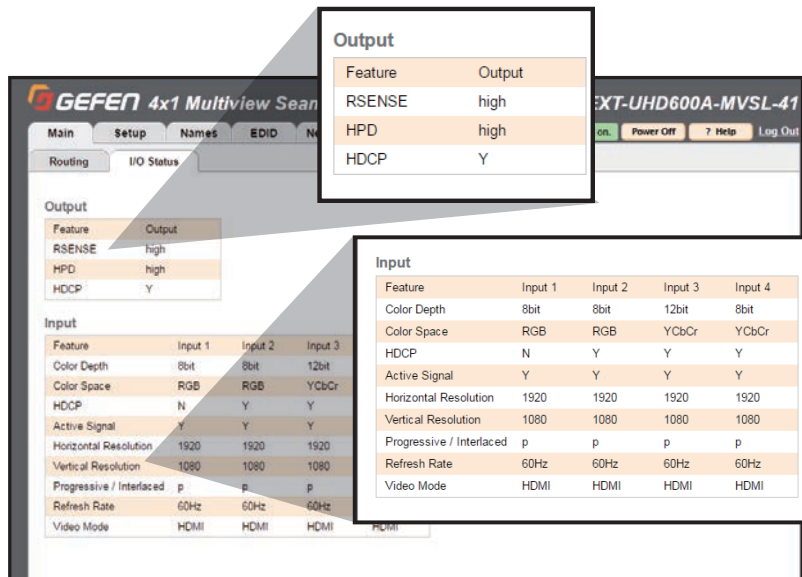
状況に応じてヘルプを表示したい場合は、「? Help」ボタンを押します。このボタンは全てのページで利用できます。

Log Out ボタン

Log Out ボタンを押してログアウトします。Web インターフェイスはログイン画面に戻ります。

Main ▶ I/O Status (入出力ステータス)

I/O Status ページは入力と出力の状態を表示します。



Output (出力)

出力ステータスは、次の3つを表示します。

RSENSE : 現在の Rsense 状態 (On/Off) を表示します。

HPD : 現在の HPD (ホットプラグ) 状態を表示します。

HDCP : 現在の HDCP 状態を表示します。HDCP は、OSD メニュー、Web インターフェイスまたは `#set_output_hdcp` コマンドで設定できます。

Input (入力)

入力ステータスは、入力 1 ~ 4 について以下の項目を表示します。

Color Depth : 入力信号の色深度 (8bit、10bit、12bit など)

Color Space : 入力信号のカラースペース (RGB または YCbCr)

HDCP : HDCP の検出 (Y または N)

Active Signal : 入力信号の検出 (Y または N)

Horizontal Resolution : 入力信号の水平解像度 (ピクセル単位)

Vertical Resolution : 入力信号の垂直解像度 (ピクセル単位)

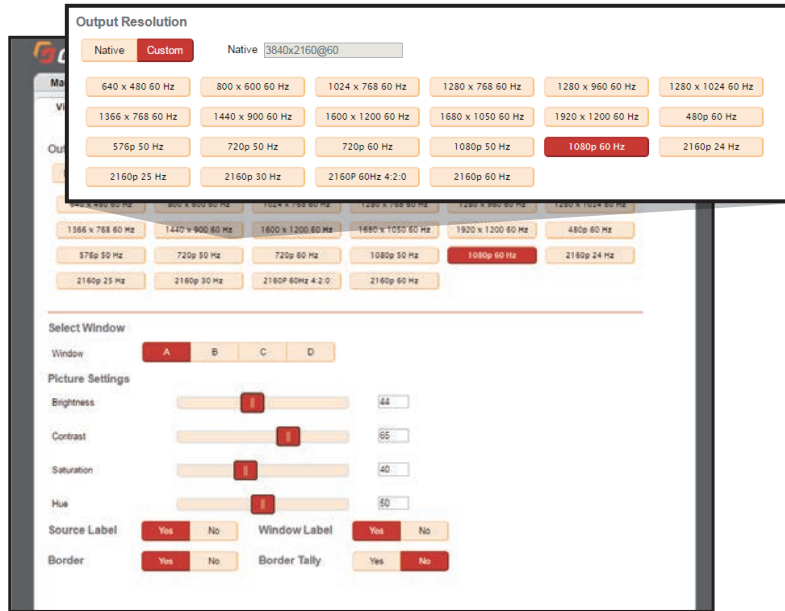
Progressive/Interlaced : 入力信号の走査方式 (p または i)

Refresh Rate : 入力信号のリフレッシュレート (60Hz など)

Video Mode : 入力信号のビデオモード (HDMI または DVI)

Setup ▶ Video (ビデオ設定)

Video ページでは、出力ビデオと各ウィンドウの設定を行ないます。出力解像度の設定には、ネイティブとカスタムのモードがあります。



Native (ネイティブ)

接続されたディスプレイの EDID データに基づいて出力解像度が設定されます。

Custom (カスタム)

本体に内蔵されている出力解像度から選択します。任意の出力解像度ボタンを押して設定します。

ウィンドウ毎の画像調整

ウィンドウ A ~ D を選択します。必要に応じて明るさ (Brightness)、コントラスト (Contrast)、彩度 (Saturation)、色相 (Hue) を調整します。スライダーを使用するか数値 (0 ~ 100) を入力して設定できます。

Source Label (ソースラベル)

Names タブで設定した入力ソース名の表示 (Yes) / 非表示 (No) を設定します。

Window Label (ウィンドウラベル)

Names タブで設定したウィンドウ名の表示 (Yes) / 非表示 (No) を設定します。

Border (ボーダー)

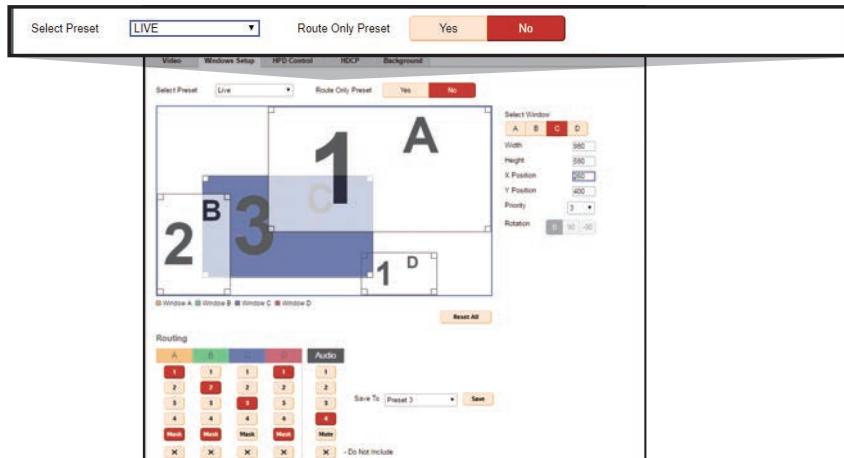
各ウィンドウにボーダー (枠) を付加するかどうかを設定します。ボーダーの色は固定で、Web インターフェイスで使用されている各ウィンドウの色がそれぞれ設定されます。

Border Tally (ボーダータリー)

外部からのコマンドで、ウィンドウのボーダーを個別に点滅させることができます。この機能は、ボーダー付加 (Border) 機能を「No」に設定した場合にのみ使用できます。ボーダー機能を「Yes」に設定した場合、この項目はグレイアウトします。

Setup ▶ Window Setup (ウィンドウ設定)

このタブではウィンドウのレイアウトを編集でき、プリセットとして保存することができます。プリセットは「Select Preset」プルダウンから選択できます。



Select Preset (プリセットの選択)

プルダウンリストには、Main タブに表示されている全 20 個のプリセットが含まれます。

その他の選択肢「LIVE」は、現在出力に表示されている状態が選択されます。

デフォルトプリセットの「Full Screen」と「Quad」は上書きできませんが、カスタムプリセットのベースとして編集することができます。ウィンドウのサイズや位置、レイヤー優先度などを編集して、Save to プルダウンで保存可能なユーザープリセットを選択し Save ボタンを押してください。

Select Window (ウィンドウの選択)

A～Dのボタンで編集するウィンドウを選択します。選択したウィンドウのサイズを変更する場合は、幅(Width)と高さ(Hight)に数値を入力します。また、左にあるプレビュー画像でウィンドウの角をドラックしてもサイズを変更することができます。

レイヤー優先度(Priority)はウィンドウが重なっている場合に有効です。「1」が最前面になります。回転(Rotation)はウィンドウ A にのみ適用できます。

Reset All (編集のリセット)

ウィンドウレイアウトの変更を以前に保存した状態に戻します。「LIVE」を選択している場合は、このボタンは無効です。

Routing (ルーティング)

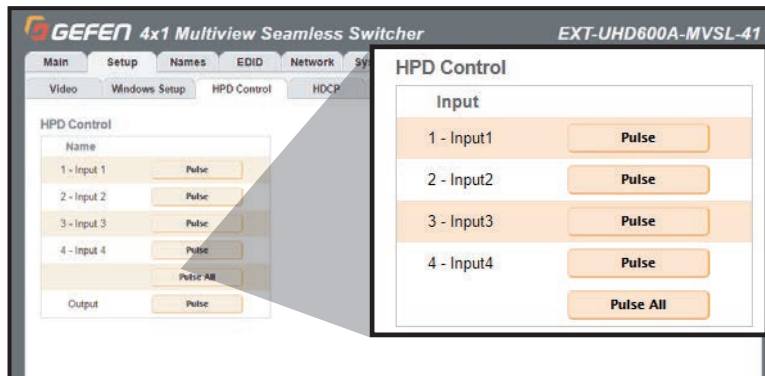
このセクションは、各ウィンドウに対する入力ソースのルーティングをユーザープリセットに保存します。「X」ボタン(Do Not Include)は、そのウィンドウの入力ソース(またはオーディオ)の現在のルーティングをそのプリセット実行時にそのまま引き継ぐときに使用します。例えば、Audio で X が選択されているプリセットを実行しても、オーディオはルーティングされずプリセット実行前の状態を維持します。

Save To (プリセットの保存)

編集したウィンドウレイアウトを保存するのに使用します。プルダウンリストから任意のプリセット Preset1～18(ユーザープリセットのみ)を選択し、Save ボタンで上書き保存します。

Setup ▶ HPD Control (ホットプラグ実行)

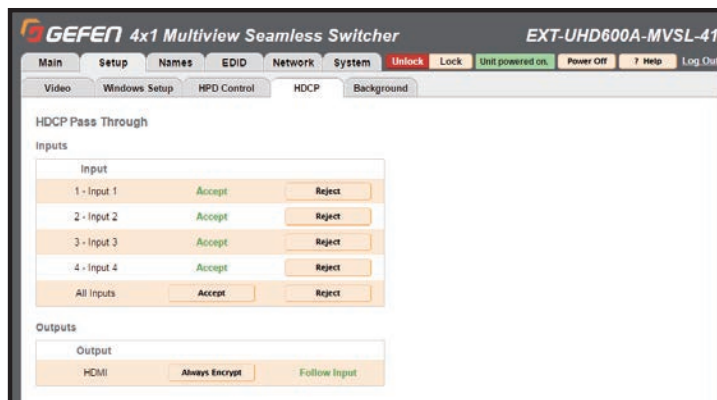
このセクションは、HPD (Hot Plug Detect) を実行するのに使用します。



任意の入力の「Pulse」ボタンを押すことにより、HPD パルスがソース機器に送られ、HDMI ケーブルを抜き差ししたのと同じように本ユニットとソース機器間の再接続が実行されます。

Setup ▶ HDCP Control (高帯域デジタルコンテンツ保護)

このセクションは、HDCP コンテンツを承認するのに使用します。



Accept (承認) / Reject (拒否)

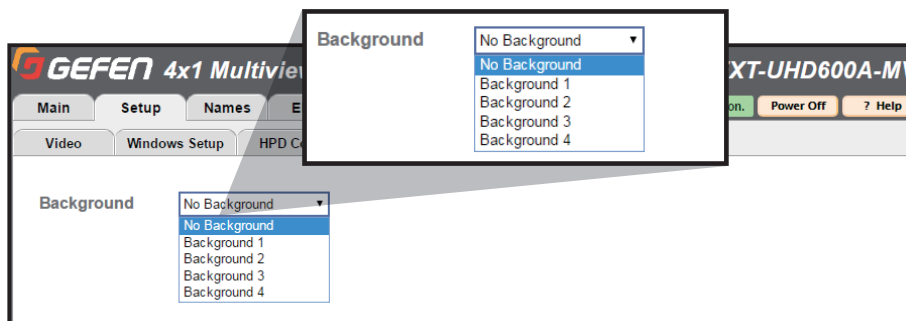
HDCP 暗号化されたコンテンツを受け入れる場合は、「Accept (承認)」を選択します。また、HDCP コンテンツを受け入れないようにするには「Reject (拒否)」を選択します。入力毎に設定できますが、「All Input」の Accept/Reject ボタンで全てを同じに設定できます。

Always Encrypt (常に暗号化) / Follow Input (入力に従う)

Always Encrypt (常に暗号化) を選択すると、入力が HDCP 暗号化されていなくても出力は常に暗号化されます。Follow Input (入力に従う) を選択すると、入力が HDCP 暗号化されているときのみ出力が暗号化されます。

Setup ▶ Background（背景画像）

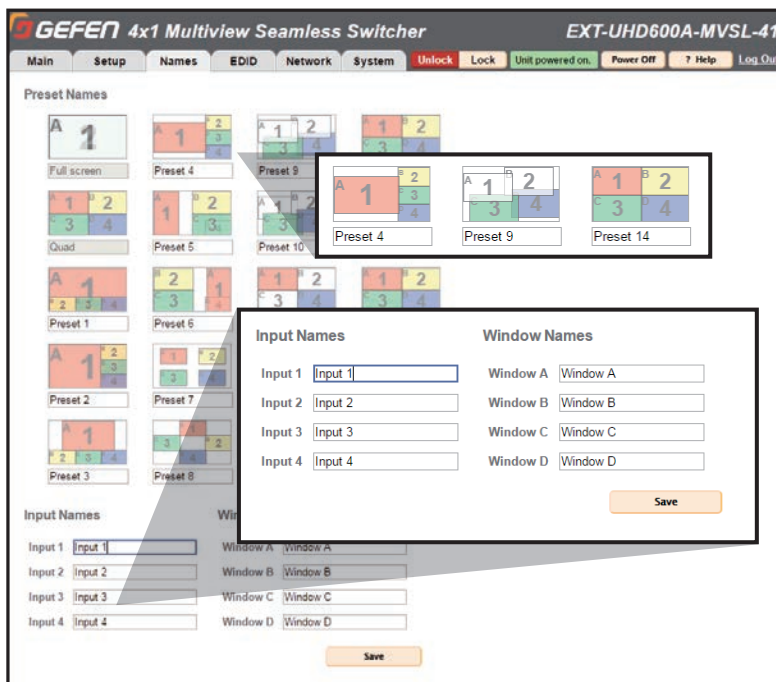
このセクションは、ウィンドウレイヤーの背後に表示される背景画像を設定するのに使用します。



プルダウンメニューから4つ（Background1～4）の背景画像を選択することができます。

Names ▶ Preset Names (プリセット名)

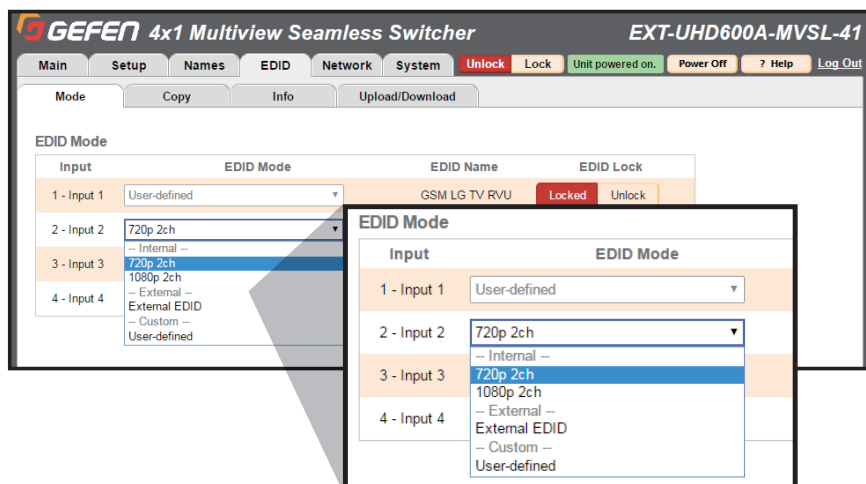
Names タブでは、プリセット名、入力名およびウィンドウ名を変更することができます。付けた名前は、ラベルとして画面に表示することができます。(表示の設定は Setup ▶ Video タブにあります)



プリセット名は、英数字の 12 文字までに制限されています。また入力名とウィンドウ名は英数字の 20 文字までに制限されています。

EDID ▶ Mode (EDID モード)

このセクションでは、入力ソース機器に送る EDID データをマネジメントすることができます。EDID とは Extended Display Identification Data の略でシンク機器のビデオおよびオーディオの情報を含んでる 256 バイトのファイルです。



EDID モードには次の 3 つのモードがあります。

Internal モード (内蔵)

本体に内蔵された標準的な EDID データで、編集することはできません。

External モード (外部)

接続されたディスプレイの EDID データをパススルーします。



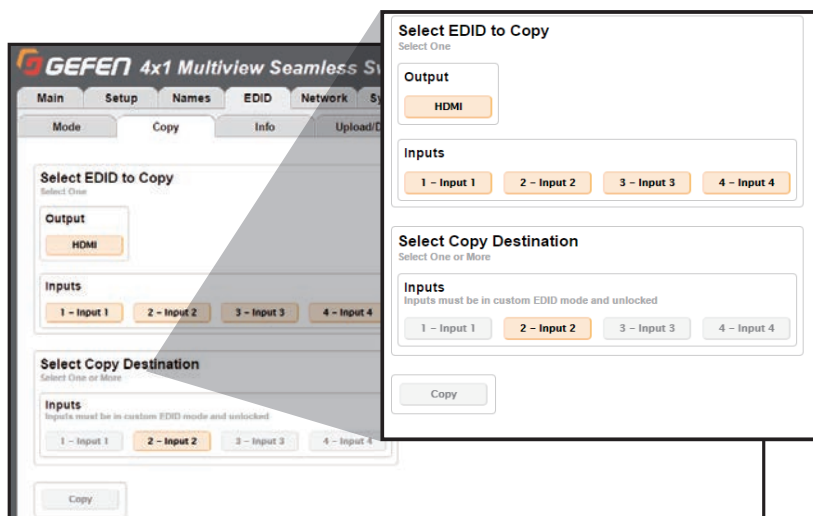
注：本ユニットは 4K 信号の入力に対応していませんので、4K 信号は表示できません。もし 4K テレビが接続されていて External モードに設定すると、ソース機器から 4K 信号が入力される可能性があります。

Custom モード (カスタム)

ユーザーが定義した EDID データを PC からアップロードして各入力のメモリーに保存することができます。このモードの場合は、保存したカスタム EDID データが誤って上書きされないようにロックする機能があります。

EDID ▶ Copy (EDID コピー)

現在出力または入力に保存されている EDID データを任意の入力にコピーすることができます。

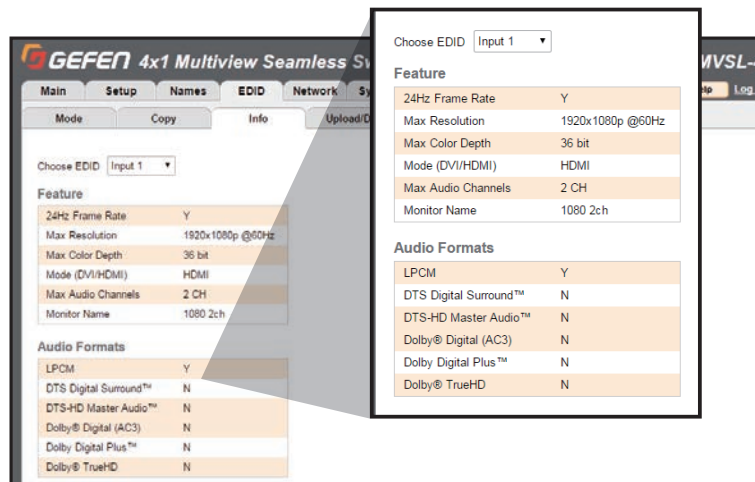


1 つの入力にアップロードしたカスタム EDID データを別の入力にもコピーする場合に使用します。コピー元とコピー先を選び Copy ボタンを押します。

注：EDID データをコピーする場合は、コピー先の EDID モードを Custom にして、EDID Lock をオフにする必要があります。そうすることで Copy ボタンが有効になります。

EDID ▶ Info (EDID 情報)

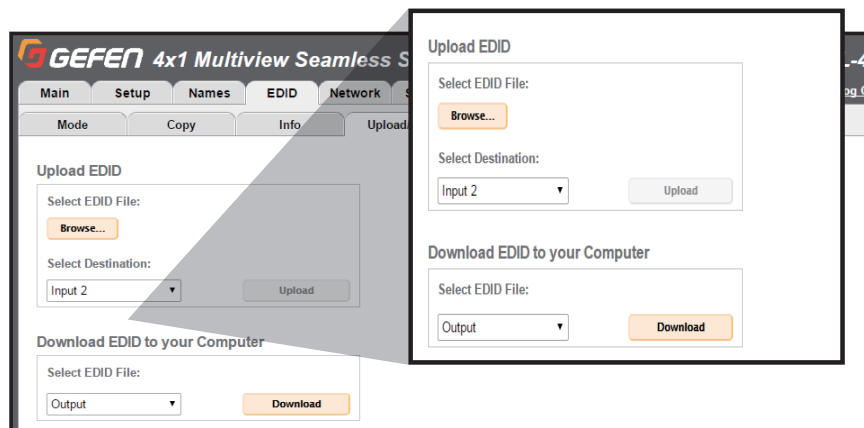
このセクションでは、EDID データの情報を確認することができます。



出力または入力（1～4）の何れかを選択して EDID 情報を表示します。EDID 情報の内容を確認することは、トラブルシューティングに役立ちます。

EDID ▶ Upload (アップロード) /Download (ダウンロード)

このセクションでは、現在出力または入力で使用している EDID データを PC にダウンロードしたり、PC 上のユーザー定義した EDID データを本体にアップロードしたりできます。



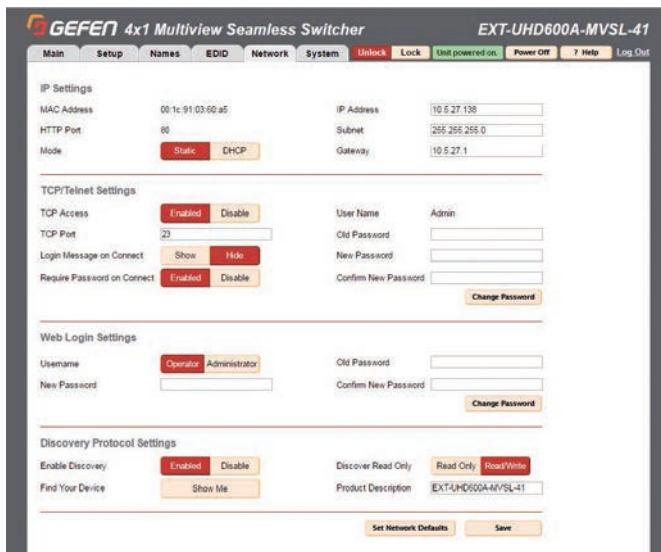
PC 上の EDID データをアップロードする場合は、「**Browse** (参照)」ボタンをクリックして PC 上の EDID ファイル（.bin : バイナリファイル）を選択し、宛先を選択して **Upload** ボタンを押します。

注：アップロード先の EDID モードは Custom モードに設定しておく必要があります。

本体の EDID データを PC にダウンロードする場合は、プルダウンリストから入力（1～4）または出力を選択して **Download** ボタンを押します。内蔵の EDID データもダウンロードできます。ダウンロードした EDID データは、Syner-G などの EDID 編集ソフトウェアにてカスタマイズした後に再度アップロードして使用することができます。

Network ▶ Settings (ネットワーク設定)

このセクションでは、IP ネットワークに関する全ての設定をすることができます。設定を変更したら「Save」ボタンを押して適用します。デフォルトの設定に戻したい場合は、「Set Network Defaults」をクリックしてください。



The screenshot shows the following settings:

- IP Settings:** MAC Address (08:1c:9f:03:00:a0), IP Address (10.5.27.138), HTTP Port (80), Subnet (255.255.255.0), Gateway (10.5.27.1). Mode: Static (selected) or DHCP.
- TCP/Telnet Settings:** TCP Access (Enabled/Disable), TCP Port (23), Login Message on Connect (Show/Hide), Require Password on Connect (Enabled/Disable), User Name (Admin), Old Password, New Password, Confirm New Password, Change Password button.
- Web Login Settings:** Username (Operator/Administrator), Old Password, New Password, Confirm New Password, Change Password button.
- Discovery Protocol Settings:** Enable Discovery (Enabled/Disable), Find Your Device (Show Me), Discover Read Only (Read Only/Read/Write), Product Description (EXT-UHD600A-MVSL-41). Buttons: Set Network Defaults, Save.

IP Settings (IP 設定)

MAC Address (MAC アドレス)

本体の LAN ポートの MAC アドレスを表示します。変更はできません。

Mode (モード)

ネットワークモードを設定します。

Options
Static : 手動で設定
DHCP : DHCP サーバーで自動設定

IP Address (IP アドレス)

Static モードの場合は、IP アドレスを手動で入力します。DHCP モードの場合は、自動で設定され変更できません。

Subnet (サブネットマスク)

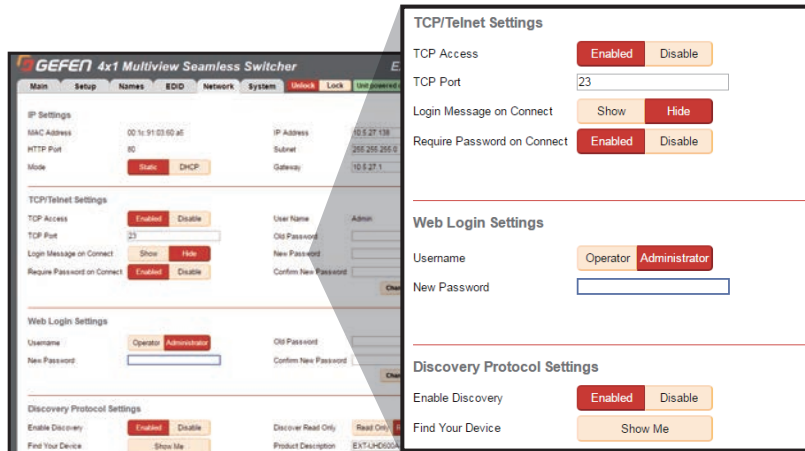
Static モードの場合は、サブネットマスクを手動で入力します。DHCP モードの場合は、自動で設定され変更できません。

Gateway (デフォルトゲートウェイ)

Static モードの場合は、ゲートウェイを手動で入力します。DHCP モードの場合は、自動で設定され変更できません。

HTTP Port (HTTP ポート)

Web インターフェイスで使用されるポートを表示します。



TCP Access (TCP アクセス)

Enable TCP Access

Telnet 通信を使用するには、「Enable (有効)」を選択します。

TCP Port (TCP ポート)

Telnet 通信で使用するポートを入力します。デフォルトは「23」です。

Login Message on Connect (ログインメッセージ)

Telnet 通信のウェルカムメッセージを表示するかどうかを設定します。

Require Password on Connect (パスワード)

Telnet 通信の開始時に、パスワードを要求するかどうかを設定します。デフォルトのパスワードは [42 ページ](#) を参照してください。

Web Login Settings (ログイン設定)

Username (ユーザー名)

Operator または Administrator を選択します。

Old Password

現在のパスワードを入力します。デフォルトのパスワードは [42 ページ](#) を参照してください。

New Password

新しいパスワードを入力します。

Confirm New Password

再度、新しいパスワードを入力します。

Discover Protocol Settings (ディスカバリー設定)

Enable Discovery (ディスカバリーの有効)

Syner-G ソフトウェアで本体を IP ネットワーク上で検出できるようにするには、「Enable(有効)」を選択します。

Find Your Device (本体を見つける)

「Show Me」をクリックすると、本体のフロントパネルの LED インジケータが点滅します。現在ログインしている本体がどれなのかを見つけるのに役立ちます。

Discover Read Only (検出のみ)

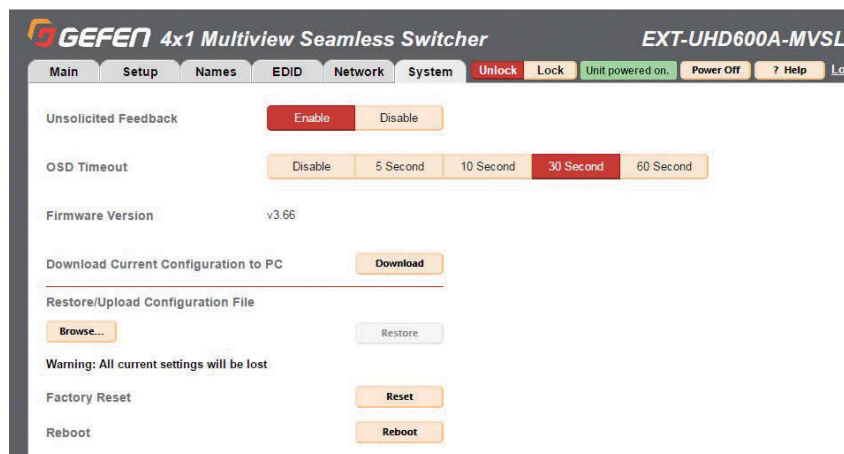
「Read/Write」を選択すると、Syner-G ソフトウェアで IP 設定を変更することができます。「Read Only」は、Syner-G ソフトウェアで本体を検出できますが、設定を変更できません。"

Product Description (製品の説明)

デフォルトでは製品の型番が表示されますが、必要に応じて新しい説明を入力することができます。

System ▶ Settings (システム設定)

System タブでは、設定を PC に保存したり PC から復元したり、工場出荷時の設定に戻したり、再起動などができます。



Unsolicited feedback (状態確認)

この機能は、シリアルインターフェイス (RS-232) または IP インターフェイス (TCP) 経由で本体の現在の状態をフィードバックするために使用されます。これによりフロントパネルや IR リモコンで操作した変更をシリアルまたは IP 接続の制御装置で知ることができます。

OSD Timeout (OSD タイムアウト)

タイムアウトとは、OSD メニューが自動的に消えるまでの時間 (秒) です。5 秒から 60 秒まで 4 段階で選択できます。Disable (無効) に設定した場合は、フロントパネルまたは IR リモコンの Exit (終了) ボタンを押して OSD メニューを非表示にします。

Download Current Configuration to PC (設定を PC にバックアップ)

Download ボタンを押して、本体の現在の設定をファイルとして PC にダウンロードします。

Restore/Upload Configuration File (設定を PC から復元)

Browse ボタンをクリックしてアップロードしたい設定ファイルを選択します。Restore ボタンを押してその設定ファイルを本体にアップロードすると、現在の設定はすべて上書きされます。



注：背景画像 (Background) は、設定ファイルのバックアップに含まれていません。

Factory Reset (ファクトリーリセット)

Reset ボタンを押して、本体を工場出荷時のデフォルト設定に戻すことができます。但し、ネットワーク設定の IP アドレスなどは保持されます。IP 設定をリセットする場合は、Network タブの Set Network Defaults ボタンを使用してください。

Reboot (再起動)

Reboot ボタンをクリックして本体を再起動します。

4K 600 MHz Ultra HD 4x1 Seamless Switcher

03 高度な操作

RS-232 および IP 設定

Telnet 通信の使い方

- 1 ハイパーターミナルなどのターミナルソフトウェアを起動します。
- 2 この例では、Mac OS のターミナルを使用します。コマンドプロンプトで次のように入力します。

```
talent IP_address
```

ここでいう **IP_address** は、本体の IP アドレスです。

- 3 次のような情報が表示されます。

```
*****Welcome to the EXT-UHD600A-MVSL-41*****
                Firmware Version: v3.66
*****
>
```

- 4 コマンドの一覧を表示するには **#help** を入力してください。

RS-232 シリアル通信の使い方

- 1 ターミナルソフトウェアを起動します。
- 2 接続した COM ポートを選択します。
- 3 RS-232 ポートを以下のように設定します。

Description	Setting
Baud rate	115200
Data bits	8
Parity	None
Stop bits	1
Hardware flow control	None

- 4 コマンドの一覧を表示するには #help を入力してください。



注：接続するネットワークによっては、IP 設定が管理されています。詳しくはネットワーク管理者に相談してください。

コマンド

名称	コマンド	説明
Audio Source (オーディオソース)	SA A	オーディオソースを取得または設定します。
Background (背景画像)	#GET_BACKGROUND #SET_BACKGROUND	背景画像を取得または設定します。
Brightness (明るさ)	#GET_BRIGHTNESS #SET_BRIGHTNESS	ウィンドウ画像の明るさのパラメータを取得または設定します。
Contrast (コントラスト)	#GET_CONTRAST #SET_CONTRAST	ウィンドウ画像のコントラストのパラメータを取得または設定します。
Custom EDID (カスタム EDID)	#GET_CUSTOM_EDID	任意の入力のカスタム EDID データをダウンロードします。
	#SEND_CUSTOM_EDID	カスタム EDID データを任意の入力にアップロードします。(コマンドを実行した後、「waiting」と表示されている間に EDID データをスペース無しの 16 進数で送信します。最後までリターンしません。)
Device Description (本ユニットの説明文)	#GET_DEVICE_DESC #SET_DEVICE_DESC	本ユニットに設定した説明文を取得または設定します。
Discovery (ディスカバリー)	#GET_DISCOVERY #SET_DISCOVERY	ディスカバリーサービスの現在の状況を取得または設定します。
Discovery Mode (ディスカバリーモード)	#GET_DISCOVERY_MODE #SET_DISCOVERY_MODE	ディスカバリーモードを取得または設定します。
Display Border (ボーダー)	#GET_DISP_BORDER #SET_DISP_BORDER	ボーダーの現在のステータスを取得または設定します。
Display Source Label (ソースラベル)	#GET_DISP_SOURCE #SET_DISP_SOURCE	ソースラベルの現在のステータスを取得または設定します。
Display Tally (タリー)	#GET_DISP_TALLY #SET_DISP_TALLY	タリーの現在のステータスを取得または設定します。
Display Window Label (ウィンドウラベル)	#GET_DISP_WINDOW #SET_DISP_WINDOW	ウィンドウラベルの現在のステータスを取得または設定します。
EDID Lock (EDID ロック)	#GET_EDID_LOCK #SET_EDID_LOCK	EDID ロックのステータスを取得または設定します。
EDID Mode (EDID モード)	#GET_EDID_MODE #SET_EDID_MODE	EDID モードのステータスを取得または設定します。
External EDID (外部 EDID)	#GET_EXTERNAL_EDID	出力に接続されたシンク機器の EDID データをダウンロードします。
Feedback (フィードバック)	#GET_FEEDBACK #SET_FEEDBACK	フィードバック機能のステータスを取得または設定します。
Firmware version (ファームウェアバージョン)	#GET_FIRMWARE_VERSION	本ユニットのファームウェアのバージョンを取得します。
Gateway (デフォルトゲートウェイ)	#GET_GATEWAY	現在のデフォルトゲートウェイアドレスを取得します。
	#SET_GATEWAY	デフォルトゲートウェイアドレスを設定します。

名称	コマンド	説明
Help (ヘルプ)	#HELP	利用可能なコマンドを一覧表示します。コマンド名を指定した場合は、そのコマンドの構文と説明が表示されます。
HPD (ホットプラグ)	#SEND_HPD	任意の入力または全ての入力に接続されたソース機器に対して HPD パルスを送信します。
Hue (色相)	#GET_HUE	ウィンドウ画像の色相のパラメータを取得または設定します。
	#SET_HUE	
Input HDCP (高帯域デジタルコンテンツ保護)	#GET_INPUT_HDCP	任意の入力の HDCP モードを取得または設定します。
	#SET_INPUT_HDCP	
Internal EDID (内蔵 EDID)	#GET_INTERNAL_EDID	本ユニットに内蔵の EDID データをダウンロードします。
IO Name (入出力名)	#GET_IO_NAME	入力またはウィンドウに設定した名称を取得します。
	#SET_IO_NAME	入力またはウィンドウの名称を編集します。
IP Address (IP アドレス)	#GET_IP_ADDRESS	本ユニットの現在の IP アドレスを取得します。
	#SET_IP_ADDRESS	本ユニットの IP アドレスを設定します。
IP Mode (IP モード)	#GET_IP_MODE	現在の IP モード (Static または DHCP) を取得または設定します。
	#SET_IP_MODE	
IP Configuration (IP 設定)	#GET_IPCONFIG	現在の IP 設定全般の情報を取得します。
Lock (操作のロック)	#GET_LOCK	現在のロックステータスを取得します。
	#SET_LOCK	操作ロックの有効または無効を設定します。
MAC Address (MAC アドレス)	#GET_MAC_ADDR	本ユニットの MAC アドレスを取得します。
Mute (オーディオミュート)	#GET_MUTE	出力オーディオのミュートステータスを取得します。
	#SET_MUTE	出力オーディオのミュートを設定します。
OSD Timeout (OSD 表示のタイムアウト)	#GET_OSD_TIMEOUT	OSD 表示のタイムアウト時間を取得または設定します。
	#SET_OSD_TIMEOUT	
Output HDCP (高帯域デジタルコンテンツ保護)	#GET_OUTPUT_HDCP	出力の HDCP モードを取得または設定します。
	#SET_OUTPUT_HDCP	
Output Resolution (出力解像度)	#GET_OUTPUT_RES	出力解像度のステータスを取得します。
	#SET_OUTPUT_RES	出力解像度を設定します。
Power (電源)	#GET_POWER	現在の電源の状態を取得します。
Power ON/OFF (電源操作)	#POWER	本ユニットの電源を入 / 切します。
Preset (プリセット)	#SET_PRESET	現在のウィンドウレイアウト設定を任意のプリセットに保存します。
Preset Name (プリセット名)	#GET_PRESET_NAME	プリセット名を取得します。
	#SET_PRESET_NAME	プリセット名を編集します。
Route Input Source (入力のルーティング)	R	入力ソースを任意のウィンドウにルーティングします。
Reboot (再起動)	#REBOOT	本体を再起動します。
Recall Preset (プリセットの呼出)	P	任意のプリセットを実行します。
Rotation (回転)	#GET_ROTATION	ウィンドウ A の現在の回転角度を取得します。
	#SET_ROTATION	ウィンドウ A の回転角度を設定します。(Full Screen および Quad モードでは動作しません。)
Routing Status (ルーティングステータス)	S	現在のルーティング状態を取得します。

名称	コマンド	説明
Saturation (彩度)	#GET_SATURATION	ウィンドウ画像の彩度のパラメータを取得します。
	#SET_SATURATION	ウィンドウ画像の彩度を設定します。
Showme (本体の確認)	#GET_SHOWME	Showme 機能のステータスを取得します。
	#SET_SHOWME	Showme 機能の有効または無効を設定します。
Subnet Mask (サブネットマスク)	#GET_SUBNET	現在のサブネットマスクを取得します。
	#SET_SUBNET	サブネットマスクを設定します。
Telnet Access (Telnet アクセス)	#GET_TELNET_ACCESS	Telnet アクセスの現在のステータスを取得します。
	#SET_TELNET_ACCESS	Telnet アクセスを有効または無効に設定します。
Telnet Login (Telnet ログイン)	#GET_TELNET_LOGIN	Telnet ログインプロセスの現在のステータスを取得します。
	#SET_TELNET_LOGIN	Telnet ログインプロセスの有効または無効を設定します。
Telnet Message (Telnet メッセージ)	#GET_TELNET_MESSAGE	ログインウェルカムメッセージの現在のステータスを取得します。
	#SET_TELNET_MESSAGE	ログインウェルカムメッセージの表示または非表示を設定します。
Telnet Port (Telnet ポート)	#GET_TELNET_PORT	現在の Telnet 通信ポート番号を取得します。
	#SET_TELNET_PORT	Telnet 通信ポートを設定します。
Web Interface Port Number (Web インターフェイス ポート)	#GET_WEB_PORT	現在の Web インターフェイスの通信ポート番号を取得します。
	#SET_WEB_PORT	Web インターフェイスの通信ポートを設定します。
Window (ウィンドウ)	#GET_WINDOW	現在のウィンドウレイアウト設定のパラメータを取得または設定します。
	#SET_WINDOW	

Audio Source (A / SA)

オーディオの入カソースを選択する

構文	A PARAM1
パラメータ	PARAM1 = 1 ~ 4 1 ~ 4 は HDMI 入力番号
例文	A 1
オーディオの現在のステータスを取得する	SA(パラメータは無し)
例文	SA

Background (#SET_ / #GET_)

背景画像を選択する

構文	#SET_BACKGROUND PARAM1
パラメータ	PARAM1 = 0 ~ 4 0 は 画像無し 1 ~ 4 は 背景画像 1 ~ 4
例文	#SET_BACKGROUND 1

背景画像の現在のステータスを取得する

構文	#GET_BACKGROUND
----	------------------------

Brightness (#SET_ / #GET_)

ウィンドウ画像の明るさを調整する

構文	#SET_BRIGHTNESS PARAM1 PARAM2 (複数のウィンドウを設定する場合は PARAM1 PARAM2 PARAM1 PARAM2...)
パラメータ	PARAM1 = A ~ D A ~ D は ウィンドウ A ~ D PARAM2 = 0 ~ 100 0 ~ 100 は 明るさのパラメータ
例文	#SET_BRIGHTNESS A 50 #SET_BRIGHTNESS A 50 B 50 #SET_BRIGHTNESS A 50 B 50 C 50 D 50

ウィンドウ画像の明るさのパラメータを取得する

構文	#GET_BRIGHTNESS PARAM1
パラメータ	PARAM1 = 0, A ~ D 0 は 全てのウィンドウ A ~ D は ウィンドウ A ~ D
例文	#GET_BRIGHTNESS A #GET_BRIGHTNESS A B #GET_BRIGHTNESS 0

Contrast (#SET_ / #GET_)

ウィンドウ画像のコントラストを調整する

構文	<code>#SET_CONTRAST PARAM1 PARAM2</code> (複数のウィンドウを設定する場合は <code>PARAM1 PARAM2 PARAM1 PARAM2...</code>)
パラメータ	PARAM1 = A ~ D A ~ D は ウィンドウ A ~ D PARAM2 = 0 ~ 100 0 ~ 100 は コントラストのパラメータ
例文	<code>#SET_CONTRAST A 50</code> <code>#SET_CONTRAST A 50 B 50</code> <code>#SET_CONTRAST A 50 B 50 C 50 D 50</code>

ウィンドウ画像のコントラストのパラメータを取得する

構文	<code>#GET_CONTRAST PARAM1</code>
パラメータ	PARAM1 = 0, A ~ D 0 は 全てのウィンドウ A ~ D は ウィンドウ A ~ D。
例文	<code>#GET_CONTRAST A</code> <code>#GET_CONTRAST A B</code> <code>#GET_CONTRAST 0</code>

Custom EDID(#SEND_ / #GET_)

カスタムモードで使用するためにカスタム EDID データを任意の入力にアップロードする (コマンドを入力した後、「Waiting」が表示されている間に EDID データをスペース無しの 16 進数で送信します。)

構文	<code>#SEND_CUSTOM_EDID PARAM1</code>
パラメータ	PARAM1 = 1 ~ 4 1 ~ 4 は HDMI 入力番号
例文	<code>#SEND_CUSTOM_EDID 1</code>

任意の入力からカスタム EDID データをダウンロードする

構文	<code>#GET_CUSTOM_EDID PARAM1</code>
パラメータ	PARAM1 = 1 ~ 4 1 ~ 4 は HDMI 入力番号
例文	<code>#GET_CUSTOM_EDID 1</code>

Device Description (#SET_ / #GET_)

本ユニットの説明文を設定する

構文	<code>#SET_DEVICE_DESC PARAM1</code>
パラメータ	PARAM1 = ABCDEFGH... (最大 29 文字までで特別な文字制限はありません)
例文	<code>#SET_DEVICE_DESC DEVICE</code>

本ユニットの現在の説明文を取得する

構文	<code>#GET_DEVICE_DESC</code>
----	-------------------------------

Discovery(#SET_ / #GET_)

ディスカバリー機能の有効または無効を設定する

構文	<code>#SET_DISCOVERY PARAM1</code>
パラメータ	PARAM1 = 0 または 1 0 は 無効 1 は 有効
例文	<code>#SET_DISCOVERY 0</code> <code>#SET_DISCOVERY 1</code>

ディスカバリー機能の現在のステータスを取得する

構文	<code>#GET_DISCOVERY</code>
----	-----------------------------

Discovery Mode(#SET_ / #GET_)

ディスカバリーモードを設定する

構文	<code>#SET_DISCOVERY_MODE PARAM1</code>
パラメータ	PARAM1 = 0 または 1 0 は 読込みのみ 1 は 読込み / 書込み
例文	<code>#SET_DISCOVERY_MODE 0</code> <code>#SET_DISCOVERY_MODE 1</code>

ディスカバリーモードの現在のステータスを取得する

構文	<code>#GET_DISCOVERY_MODE</code>
----	----------------------------------

Display Border (#SET_ / #GET_)

ウィンドウボーダーの有効または無効を設定する

構文	<code>#SET_DISP_BORDER PARAM1 PARAM2</code>
パラメータ	PARAM1 = 0, A ~ D 0 は全てのウィンドウ A ~ D はウィンドウ A ~ D PARAM2 = 0 または 1 0 は無効 1 は有効
例文	<code>#SET_DISP_BORDER 0 1</code> <code>#SET_DISP_BORDER A 1</code>

ウィンドウボーダーの現在のステータスを取得する

構文	<code>#GET_DISP_BORDER PARAM1</code>
パラメータ	PARAM1 = 0, A ~ D 0 は全てのウィンドウ A ~ D はウィンドウ A ~ D
例文	<code>#GET_DISP_BORDER 0</code> <code>#GET_DISP_BORDER A</code>

Display Source Label (#SET_ / #GET_)

ソースラベルの表示を有効または無効にする

構文	<code>#SET_DISP_SOURCE PARAM1 PARAM2</code>
パラメータ	PARAM1 = 0, A ~ D 0 は全てのウィンドウ A ~ D はウィンドウ A ~ D PARAM2 = 0 または 1 0 は無効 1 は有効
例文	<code>#SET_DISP_SOURCE 0 1</code> <code>#SET_DISP_SOURCE A 1</code>

ソースラベル表示の現在のステータスを取得する

構文	<code>#GET_DISP_SOURCE PARAM1</code>
パラメータ	PARAM1 = 0, A ~ D 0 は全てのウィンドウ A ~ D はウィンドウ A ~ D
例文	<code>#GET_DISP_SOURCE 0</code> <code>#GET_DISP_SOURCE A</code>

Display Tally (#SET_ / #GET_)

タリーの表示を有効または無効にする

構文	<code>#SET_DISP_TALLY PARAM1 PARAM2</code>
パラメータ	PARAM1 = 0, A ~ D 0 は全てのウィンドウ A ~ D はウィンドウ A ~ D PARAM2 = 0 または 1 0 は無効 1 は有効
例文	<code>#SET_DISP_TALLY 0 1</code> <code>#SET_DISP_TALLY A 1</code>

タリー表示の現在のステータスを取得する

構文	<code>#GET_DISP_TALLY PARAM1</code>
パラメータ	PARAM1 = 0, A ~ D 0 は全てのウィンドウ A ~ D はウィンドウ A ~ D
例文	<code>#GET_DISP_TALLY 0</code> <code>#GET_DISP_TALLY A</code>

Display Window Label (#SET_ / #GET_)

ウィンドウラベルの表示を有効または無効にする

構文	<code>#SET_DISP_WINDOW PARAM1 PARAM2</code>
パラメータ	PARAM1 = 0, A ~ D 0 は全てのウィンドウ A ~ D はウィンドウ A ~ D PARAM2 = 0 または 1 0 は無効 1 は有効
例文	<code>#SET_DISP_WINDOW 0 1</code> <code>#SET_DISP_WINDOW A 1</code>

ウィンドウラベル表示の現在のステータスを取得する

構文	<code>#GET_DISP_WINDOW PARAM1</code>
パラメータ	PARAM1 = 0, A ~ D 0 は全てのウィンドウ A ~ D はウィンドウ A ~ D
例文	<code>#GET_DISP_WINDOW 0</code> <code>#GET_DISP_WINDOW A</code>

EDID Lock (#SET_ / #GET_)

EDID データをロックする

(この機能はカスタム EDID モードの場合にのみ有効です。カスタム EDID データの上書きを防止します。)

構文	<code>#SET_EDID_LOCK PARAM1 PARAM2</code>
パラメータ	PARAM1 = 0, 1 ~ 4 0 は全ての入力 1 ~ 4 は入力 1 ~ 4 PARAM2 = 0 または 1 0 は無効 1 は有効
例文	<code>#SET_EDID_LOCK 1 0</code> <code>#SET_EDID_LOCK 0 0</code>

EDID ロックの現在のステータスを取得する

構文	<code>#GET_EDID_LOCK PARAM1</code>
パラメータ	PARAM1 = 0, 1 ~ 4 0 は全ての入力 1 ~ 4 は入力 1 ~ 4
例文	<code>#GET_EDID_LOCK 1</code> <code>#GET_EDID_LOCK 0</code>

EDID Mode (#SET_ / #GET_)

EDID モードを選択する

構文	<code>#SET_EDID_MODE PARAM1 PARAM2</code>
パラメータ	PARAM1 = 0, 1 ~ 4 (0 は全ての入力。1 ~ 4 は入力 1 ~ 4) PARAM2 = 1 ~ 4 1 は INTERNAL-720P 2CH (内蔵 EDID) 2 は INTERNAL-1080P 2CH (内蔵 EDID) 3 は EXTERNAL (パススルー) 4 は CUSTOM (カスタム EDID)
例文	<code>#SET_EDID_MODE 1 1</code> <code>#SET_EDID_MODE 0 1</code>

EDID モードの現在のステータスを取得する

構文	<code>#GET_EDID_MODE PARAM1</code>
パラメータ	PARAM1 = 0, 1 ~ 4 0 は全ての入力 1 ~ 4 は入力 1 ~ 4
例文	<code>#GET_EDID_MODE 1</code> <code>#GET_EDID_MODE 0</code>

External EDID

出力に接続した表示機器の EDID データをダウンロードする

構文	<code>#GET_EXTERNAL_EDID</code>
----	---------------------------------

Feedback (#SET_ / #GET_)

RS-232 または IP 通信経由のフィードバックを有効または無効にする

構文	<code>#SET_FEEDBACK PARAM1</code>
----	-----------------------------------

パラメータ	PARAM1 = 0 または 1 0 は 無効 1 は 有効
-------	--------------------------------------

例文	<code>#SET_FEEDBACK 1</code>
----	------------------------------

フィードバックのステータスを取得する

構文	<code>#GET_FEEDBACK</code>
----	----------------------------

Firmware Version

ファームウェアのバージョン情報を取得する

構文	<code>#GET_FIRMWARE_VERSION</code>
----	------------------------------------

Gateway (#SET_ / #GET_)

ゲートウェイアドレスを設定する

構文	<code>#SET_GATEWAY PARAM1</code>
----	----------------------------------

パラメータ	PARAM1 = XXX . XXX . XXX . XXX (XXX は 0 ~ 255)
-------	---

例文	<code>#SET_GATEWAY 192.168.1.1</code>
----	---------------------------------------

現在のゲートウェイアドレスを取得する

構文	<code>#GET_GATEWAY</code>
----	---------------------------

Help

利用可能なコマンドを一覧表示する。

(パラメータにコマンド名を指定した場合は、そのコマンドの構文と説明が表示されます。)

構文	<code>#HELP (PARAM1)</code>
----	-------------------------------

パラメータ	PARAM1 = 無し または コマンド名 (「#」は不要)
-------	---------------------------------

例文	<code>#HELP GET_IPCONFIG</code>
----	---------------------------------

HPD

入口に接続されたソース機器に HPD (ホットプラグ) パルスを送信する

構文	<code>#SEND_HPDPARAM1</code>
パラメータ	PARAM1 = 1 ~ 5, 0 1 ~ 4 は入力 1 ~ 4 5 は出力 0 は全ての入力
例文	<code>#SEND_HPDP 1</code> <code>#SEND_HPDP 5</code> <code>#SEND_HPDP 0</code>

Hue (#SET_ / #GET_)

ウィンドウ画像の色相を調整する

構文	<code>#SET_HUEPARAM1PARAM2</code> (複数のウィンドウを設定する場合は <code>PARAM1PARAM2PARAM1PARAM2...</code>)
パラメータ	PARAM1 = A ~ D A ~ D はウィンドウ A ~ D PARAM2 = 0 ~ 100 0 ~ 100 は色相の調整値
例文	<code>#SET_HUEA50</code> <code>#SET_HUEA50B50</code> <code>#SET_HUEA50B50C50D50</code>

ウィンドウ画像の現在の色相ステータスを取得する

構文	<code>#GET_HUEPARAM1</code>
パラメータ	PARAM1 = 0, A ~ D 0 は全てのウィンドウ A ~ D はウィンドウ A ~ D
例文	<code>#GET_HUEA</code> <code>#GET_HUEAB</code> <code>#GET_HUE0</code>

IO Name (#SET_ / #GET_)

入力名またはウィンドウ名を編集する

構文	<code>#SET_IO_NAME PARAM1 PARAM2</code>
パラメータ	PARAM1 = 1 ~ 4, A ~ D 1 ~ 4 は 入力 1 ~ 4 A ~ D は ウィンドウ A ~ D PARAM2 = 12 文字までの英数字 (使用可能な文字は A ~ Z, a ~ z, 0 ~ 9 およびスペース。)
例文	<code>#SET_IO_NAME 1 BLURAY</code> <code>#SET_IO_NAME A WINDOW 1</code>

入力またはウィンドウの現在の名称を取得する

構文	<code>#GET_IO_NAME PARAM1</code>
パラメータ	PARAM1 = 1 ~ 4, A ~ D 1 ~ 4 は 入力 1 ~ 4 A ~ D は ウィンドウ A ~ D
例文	<code>#GET_IO_NAME 1</code> <code>#GET_IO_NAME A</code>

IP Address (#SET_ / #GET_)

IP アドレスを設定する

構文	<code>#SET_IP_ADDRESS PARAM1</code>
パラメータ	PARAM1 = XXX . XXX . XXX . XXX (XXX は 0 ~ 255)
例文	<code>#SET_IP_ADDRESS 192.168.1.72</code>

現在の IP アドレスを取得する

構文	<code>#GET_IP_ADDRESS</code>
----	------------------------------

IP Mode (#SET_ / #GET_)

IP モードを Static または DHCP に設定する

構文	<code>#SET_IP_MODE PARAM1</code>
パラメータ	PARAM1 = 0 または 1 0 は STATIC 1 は DHCP
例文	<code>#SET_IP_MODE 0</code>

現在の IP モードを取得する

構文	<code>#GET_IP_MODE</code>
----	---------------------------

IP Configuration

現在のネットワーク設定を取得する

構文	<code>#GET_IPCONFIG</code>
----	----------------------------

Lock (#SET_ / #GET_)

フロントパネルおよび IR リモコンの操作をロックまたはロック解除する

構文	<code>#SET_LOCK PARAM1</code>
----	-------------------------------

パラメータ	PARAM1 = 0 または 1 0 は ロック解除 1 は ロック
-------	--

例文	<code>#SET_LOCK 1</code> <code>#SET_LOCK 0</code>
----	--

ロックの現在のステータスを取得する

構文	<code>#GET_LOCK</code>
----	------------------------

MAC Address

本ユニットの MAC アドレスを取得します。

構文	<code>#GET_MAC_ADDR</code>
----	----------------------------

Mute (#SET_ / #GET_)

オーディオ出力をミュート（消音）する

構文	<code>#SET_MUTE PARAM1</code>
----	-------------------------------

パラメータ	PARAM1 = 0 または 1 0 は ミュート解除 1 は ミュート
-------	--

例文	<code>#SET_MUTE 0</code>
----	--------------------------

ミュートの現在のステータスを取得する

構文	<code>#GET_MUTE</code>
----	------------------------

OSD Timeout (#SET_ / #GET_)

OSD 表示のタイムアウト時間を設定する

構文	<code>#SET_OSD_TIMEOUT PARAM1</code>
パラメータ	PARAM1 = 0 ~ 4 0 は 無効 (Exit ボタンを押すまで表示) 1 は 5 秒 2 は 10 秒 3 は 30 秒 4 は 60 秒
例文	<code>#SET_OSD_TIMEOUT 3</code>

現在の OSD 表示タイムアウト時間を取得する

構文	<code>#GET_OSD_TIMEOUT</code>
----	-------------------------------

Output HDCP (#SET_ / #GET_)

出力の HDCP モードを設定する

構文	<code>#SET_OUTPUT_HDCP PARAM1</code>
パラメータ	PARAM1 = 0 または 1 0 は 入力信号に従う 1 は 常に暗号化 (HDCP1.4)
例文	<code>#SET_OUTPUT_HDCP 0</code>

出力の現在の HDCP モードを取得する

構文	<code>#GET_OUTPUT_HDCP</code>
----	-------------------------------

Output Resolution (#SET_ / #GET_)

本ユニットの出力解像度を設定する

構文	#SET_OUTPUT_RES PARAM1
パラメータ	PARAM1 = 1 ~ 23 1 は 640 X 480 60Hz 2 は 800 X 600 60Hz 3 は 1024 X 768 60Hz 4 は 1280 X 768 60Hz 5 は 1280 X 960 60Hz 6 は 1280 X 1024 60Hz 7 は 1366 X 768 60Hz 8 は 1440 X 900 60Hz 9 は 1600 X 1200 60Hz 10 は 1680 X 1050 60Hz 11 は 1920 X 1200 60Hz 12 は 480P 60Hz 13 は 576P 50Hz 14 は 720P 50Hz 15 は 720P 60Hz 16 は 1080P 50Hz 17 は 1080P 60Hz 18 は 2160P 24Hz 19 は 2160P 25Hz 20 は 2160P 30Hz 21 は 2160P 60Hz 4:2:0 22 は 2160P 60Hz 4:4:4 23 は ネイティブ解像度
例文	#SET_OUTPUT_RES 23

現在の出力解像度のステータスを取得する

構文	#GET_OUTPUT_RES
----	------------------------

Power (ON_OFF / #GET_)

本体の電源を ON または OFF する

構文	#POWER PARAM1
パラメータ	PARAM1 = 0 または 1 0 は OFF 1 は ON
例文	#POWER 0 #POWER 1

現在の電源のステータスを取得する

構文	#GET_POWER
----	-------------------

Preset (#SET_)

現在のウィンドウレイアウトをプリセットに保存する

構文	#SET_PRESET PARAM1 (PARAM2)
パラメータ	PARAM1 = 1 ~ 18 1 ~ 18 は プリセット番号 PARAM2 = R (R は 入力のルーティングのみを保存)
例文	#SET_PRESET 1 #SET_PRESET 2 R

Preset Name (#SET_ / #GET_)

プリセット名を編集する

構文	#SET_PRESET_NAME PARAM1 PARAM2
パラメータ	PARAM1 = 1 ~ 18 1 ~ 18 は プリセット番号 PARAM2 = 12 文字までの英数字 (使用可能な文字は A ~ Z, a ~ z, 0 ~ 9 およびスペース。)
例文	#SET_PRESET_NAME 1 QUAD

現在のプリセット名を取得する

構文	#GET_PRESET_NAME PARAM1
パラメータ	PARAM1 = 1 ~ 18 1 ~ 18 は プリセット番号
例文	#GET_PRESET_NAME 1

R

ウィンドウ内の入力のルーティングを設定する

構文	R PARAM1 PARAM2 (複数のウィンドウを設定する場合は PARAM1 PARAM2 PARAM1 PARAM2...)
パラメータ	PARAM1 = A ~ D A ~ D は ウィンドウ A ~ D PARAM2 = 1 ~ 4, M 1 ~ 4 は HDMI 入力 1 ~ 4 M は Mask (マスク)
例文	R A 1 R A 1 B 2 R A 1 B 2 C 3 R A 1 B 2 C 3 D 4 R A M

Reboot

本体を再起動する

構文	#REBOOT
----	---------

P

プリセットを呼出す (実行する)

構文	P PARAM1
----	-----------------

パラメータ

PARAM1 = A, B, C, D, Q, 1 ~ 18
 A は ウィンドウ A (入力 1) のフルスクリーン
 B は ウィンドウ B (入力 2) のフルスクリーン
 C は ウィンドウ C (入力 3) のフルスクリーン
 D は ウィンドウ D (入力 4) のフルスクリーン
 Q は QUAD プリセット
 1 ~ 18 は プリセット 1 ~ 18

例文

P 1
P Q
P B

Rotation (#SET_ / #GET_)

ウィンドウ A の回転角度を設定する
 (Full Screen および Quad モードでは動作しません。)

構文	#SET_ROTATION PARAM1
----	-----------------------------

パラメータ

PARAM1 = N, C, CC
 N は ノーマル (±0 度)
 C は 時計回り +90 度
 CC は 反時計回り -90 度

例文

#SET_ROTATION C

ウィンドウ A の現在の回転角度を取得する

構文	#GET_ROTATION
----	----------------------

S

ルーティングの状態を取得する

構文	S
----	----------

パラメータ	なし
-------	----

例文	S
----	----------

Saturation (#SET_ / #GET_)

任意のウィンドウ画像の彩度を調整する

構文	<code>#SET_SATURATION PARAM1 PARAM2</code> (複数のウィンドウを設定する場合は <code>PARAM1 PARAM2 PARAM1 PARAM2...</code>)
パラメータ	PARAM1 = A ~ D A ~ D はウィンドウ A ~ D PARAM2 = 0 ~ 100 0 ~ 100 は 彩度値
例文	<code>#SET_SATURATION A 50</code> <code>#SET_SATURATION A 50 B 50</code> <code>#SET_SATURATION A 50 B 50 C 50 D 50</code>

任意のウィンドウの現在の彩度値を取得する

構文	<code>#GET_SATURATION PARAM1</code>
パラメータ	PARAM1 = 0, A ~ D 0 は 全てのウィンドウ A ~ D はウィンドウ A ~ D
例文	<code>#GET_SATURATION A</code> <code>#GET_SATURATION A B</code> <code>#GET_SATURATION 0</code>

Showme (#SET_ / #GET_)

Showme 機能を ON または OFF する

構文	<code>#SET_SHOWME PARAM1</code>
パラメータ	PARAM1 = 0 または 1 0 は OFF 1 は ON
例文	<code>#SET_SHOWME 1</code> <code>#SET_SHOWME 0</code>

Showme 機能の現在のステータスを取得する

構文	<code>#GET_SHOWME</code>
----	--------------------------

Subnet (#SET_ / #GET_)

本ユニットのサブネットマスクを設定する

構文	<code>#SET_SUBNET PARAM1</code>
パラメータ	PARAM1 = XXX . XXX . XXX . XXX XXX は 0 ~ 255
例文	<code>#SET_SUBNET 255.255.255.0</code>

現在のサブネットマスクを取得する

構文	<code>#GET_SUBNET</code>
----	--------------------------

Telnet (#SET_ / #GET_)

Telnet アクセスを有効または無効にする

構文	<code>#SET_TELNET_ACCESS PARAM1</code>
パラメータ	PARAM1 = 0 または 1 0 は 無効 1 は 有効
例文	<code>#SET_TELNET_ACCESS 1</code>

Telnet アクセスの現在のステータスを取得する

構文	<code>#GET_TELNET_ACCESS</code>
----	---------------------------------

Telnet Login (#SET_ / #GET_)

Telnet 通信のログインプロセスを有効または無効にする

構文	<code>#SET_TELNET_LOGIN PARAM1</code>
パラメータ	PARAM1 = 0 または 1 0 は 無効 1 は 有効
例文	<code>#SET_TELNET_LOGIN 0</code>

ログインプロセスの現在のステータスを取得する

構文	<code>#GET_TELNET_LOGIN</code>
----	--------------------------------

Telnet Message (#SET_ / #GET_)

Telnet ログイン時のウェルカムメッセージを表示または非表示にする

構文	<code>#SET_TELNET_MESSAGE PARAM1</code>
パラメータ	PARAM1 = 0 または 1 0 は 非表示 1 は 表示
例文	<code>#SET_TELNET_MESSAGE 0</code>

ウェルカムメッセージの現在のステータスを取得する

構文	<code>#GET_TELNET_MESSAGE</code>
----	----------------------------------

Telnet Port (#SET_ / #GET_)

Telnet 通信ポートを設定する

構文	<code>#SET_TELNET_PORT PARAM1</code>
パラメータ	PARAM1 = 1 ~ 65535
例文	<code>#SET_TELNET_PORT 23</code>

現在の Telnet 通信のポート番号を取得する

構文	<code>#GET_TELNET_PORT</code>
----	-------------------------------

UDP Port (#SET_ / #GET_)

UDP アクセスを有効または無効にする

構文	<code>#SET_UDP_ACCESS PARAM1</code>
パラメータ	PARAM1 = 0 または 1 0 は 無効 1 は 有効
例文	<code>#SET_UDP_ACCESS 0</code>

UDP アクセスの現在のステータスを取得する

構文	<code>#GET_UDP_ACCESS</code>
----	------------------------------

Web Interface Port Number (#SET_ / #GET_)

ウェブインターフェイスのポートを設定する

構文	<code>#SET_WEB_PORT PARAM1</code>
パラメータ	PARAM1 = 1 ~ 65535
例文	<code>#SET_WEB_PORT 80</code>

現在のウェブインターフェイスのポート番号を取得する

構文	<code>#GET_WEB_PORT</code>
----	----------------------------

Window (#SET_ / #GET_)

ウィンドウレイアウトを設定する

構文	<pre>#SET_WINDOW PARAM1 PARAM2 PARAM3 PARAM4 PARAM5 PARAM6</pre>
パラメータ	<p>PARAM1 = A ~ D A ~ D は ウィンドウ A ~ D</p> <p>PARAM2 = 1 ~ 1920 1 ~ 1920 は ウィンドウの幅 (水平サイズ)</p> <p>PARAM3 = 1 ~ 1080 1 ~ 1080 は ウィンドウの高さ (垂直サイズ)</p> <p>PARAM4 = 1 ~ 1920 1 ~ 1920 は ウィンドウの水平ポジション</p> <p>PARAM5 = 1 ~ 1080 1 ~ 1080 は ウィンドウの垂直ポジション</p> <p>PARAM6 = 1 ~ 4 1 ~ 4 は ウィンドウのレイヤー優先度</p>
例文	<pre>#SET_WINDOW A 960 540 1 1 1 #SET_WINDOW B 960 540 961 1 2</pre>

ウィンドウレイアウトの現在の調整値を取得する

構文	<p>PARAM1 = 0, A ~ D 0 は 全てのウィンドウ A ~ D は ウィンドウ A ~ D</p>
例文	<pre>#GET_WINDOW 0 #GET_WINDOW A</pre>

4K 600 MHz Ultra HD 4x1 Seamless Switcher

04 付録

デフォルト設定

項目	設定値
MAC アドレス	本体毎に固有（変更不可）
IP アドレス	192.168.1.72
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
HTTP リスニングポート	80
Telnet リスニングポート	23
Telnet / TCP アクセス	有効
Syner-G ディスカバリー	有効
Syner-G ディスカバリーモード	Read / Write モード
Syner-G Showme 機能	Hide Me

項目	設定値
入力名	Input 1 - Input 4
入力 HDCP	Allow（許可）
ウィンドウ名	Window 1 - Window 4
出力 HDCP	入力をフォロー
出力解像度	ネイティブ（接続されたディスプレイの EDID データによる）
プリセット名（Full と Quad は含まず）	Preset 1 - Preset 18

ファームウェアの更新



ファームウェアの更新は Syner-G ソフトウェアで実行できます。

<http://www.gefen.com/technology/gefen-syner-g-software>

重要：ファームウェアの更新中は本体の電源を OFF にしないでください。

仕様

最大解像度	
入力	1080p Full HD (1920 × 1080, 60Hz, 4:4:4) WUXGA (1920 × 1200, 60Hz, 4:4:4)
出力	4K Ultra HD (3840 × 2160, 60Hz, 4:4:4)
最大ピクセルクロック	600 MHz

コネクタ	
Video Inputs	HDMI Type A 19-pin, 双 × 4
Video Output	HDMI Type A 19-pin, 双 × 1
RS-232	DB-9, 双 × 1
IP Control	RJ-45 × 1
USB	Mini-B
IR In/Ext	3.5mm ステレオミニ × 1
Analog Audio Outputs	RCA, 双 × 2
Power	ロック式 3-pin

動作環境	
電源	12V DC
消費電力	15W
IR リモコン用電池	リチウム電池 CR2025 ×1
動作環境温度	0 ~ +50 °C
動作環境湿度	5% ~ 90% RH (結露なきこと)
保管温度	-20 ~ +85 °C
保管湿度	0% ~ 95% RH (結露なきこと)
MTBF	50,000 時間

寸法・重量	
外形寸法 (W × H × D, 突起部含まず)	389mm × 43mm × 226mm (ラックマウント金具含まず) 480mm × 43mm × 226mm (ラックマウント金具含む)
質量	約 2.5 kg

機能および仕様は予告なく変更されることがあります。



- この製品を安全にお使いいただくために、設置・運用には十分な安全対策を行ってください。
- この取扱説明書に記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標または商標です。
- 仕様および外観は予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

HIBINO

ヒビノインターサウンド株式会社

〒108-0075 東京都港区港南3-5-12 TEL: 03-5783-3880 FAX: 03-5783-3881

E-mail: info@hibino-intersound.co.jp <http://www.hibino-intersound.co.jp/>